



《 近代化遺産バスツアー 》

日本の近代化をリードした

織都足利の近代化産業遺産を訪ねるⅡ

(平成27年10月18日)



足利工業大学 工学部

建築・社会基盤学系 福島二郎

■自己紹介■

【 profile 】

福島二郎 (ふくしま じろう)

足利工業大学 准教授
工学部 建築・社会基盤学系

- ・出身地：宮城県
- ・専門分野：土木史・都市計画・まちづくり



【 研究テーマ 】

- ①歴史的建造物の評価と活用手法に関する研究
- ②地方都市の発展要因に関する史的研究
- ③地域資源を活用したまちづくりに関する研究
(近代化遺産を活用した企画事業・地域学習プログラムの企画)

■プロローグ／夏から秋へ■



百日紅（さるすべり）

<http://blog.goo.ne.jp/whitehouse-atsugi/e/1a4b2620e7a50a429f586279a0b06ac1>

いつの間に もう秋！ 昨日は
夏だった・・・おだやかな陽気な
陽ざしが 林のなかに ざはめいてゐる
ひとところ 草の葉のゆれるあたりに

（また落葉林で/立原道造『優しき歌』所収）



彼岸花（ひがんばん）

http://kobe.travel.coocan.jp/photo/kitaharima/higanbana/aka/higanbana_005.jpg

■プロローグ／夏から秋へ■



<http://photohito.com/photo/2784822/>

- 中国からの帰化植物
- 学名：「Lycoris radiata Herb」
- 英名：「Red spider lily」
- 別名：「マンジュシャゲ（曼珠沙華）」
「シビトバナ」「ヤクビョウバナ」
「ハミズハナミズ（葉見ず花見ず）」
「ジャンボンバナ」 etc..
- 花言葉：情熱、悲しい思い出、恐怖、 etc..

くれないの 曼珠沙華すくと 野に立ちて
火のまつりせり みずからのため

（沖ななも『21世紀現代短歌集4』所収）

■プロローグ／視点を変えてみると？ ■

海に浮かぶ島？

島とは、まわりを水に囲まれた陸地のこと
((公財)日本海事広報協会HP)



＝ 地続き ……島は浮かんでいない！

- 日本の国土構成島数：6,852
- 構成島数,周囲：海上保安庁が海上の岸線（海岸線）0.1km以上の島。
- 日本国内では、四国より大きい陸地を本土、択捉島より小さい陸地を一般に島と呼んでいる。
(教育出版株式会社HP)

海面の高低が変われば島の数も変わる！

- * 海が干上がれば、島はゼロになる
- * 逆に、海が地表を覆い尽くしても島はゼロ！

■本日のテーマ■

日本の近代化をリードした 織都足利の近代化産業遺産を訪ねる

Keywords?

近代化
産業遺産

足利織物

まちづくり



近代化遺産全国一斉公開2015 in 足利

■ 最近の自然災害 ■

《 関東・東北豪雨 (2015.9.10) 》



<http://www.yomiuri.co.jp/photo/20150910/20150910-OYT1150035-N.jpg>



<http://www.sankei.com/affairs/photos/150910/afr1509100040-p4.html>

■ 最近の自然災害 ■

◀ 関東・東北豪雨 (2015.9.10) ▶



http://www.jiji.com/news/kiji_photos/0150911at22_p.jpg

<http://www.sankei.com/affairs/photos/150910/afr1509100040-p7.html>

■ 最近の自然災害 ■

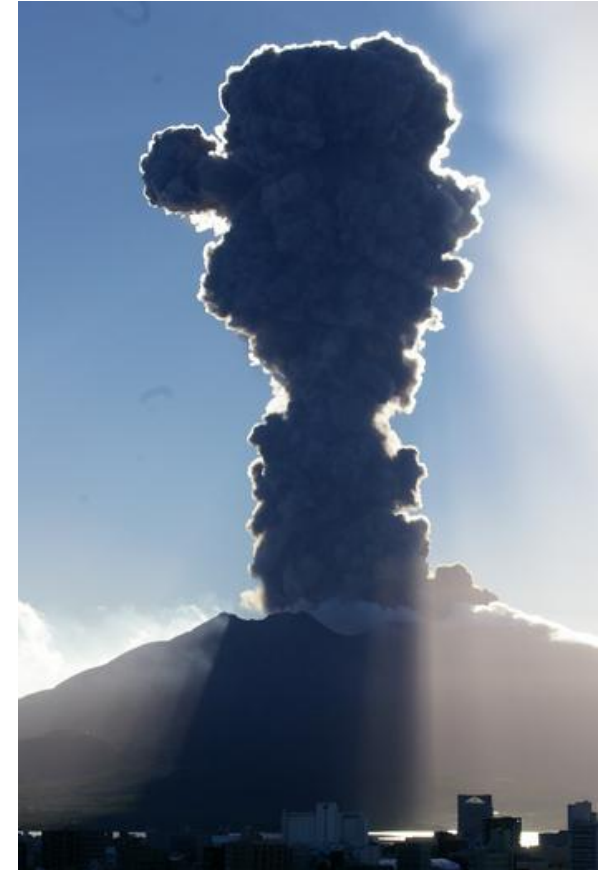
◀ 桜島噴火 (2015.8.15) ▶



[http://www7a.biglobe.ne.jp/~yellow_house04/sakurajima_01/page/sakurajima11.html](http://www7a.biglobe.ne.jp/~yellow_house04/sakurajima/sakurajima_01/page/sakurajima11.html)



<http://blog-imgs-51.fc2.com/f/i/n/finss/20120610225918033.jpg>



<http://39.benesse.ne.jp/blog/0049/img/82/CHBwczAwNVsxXUS8.jpg>

■ 最近の自然災害 ■

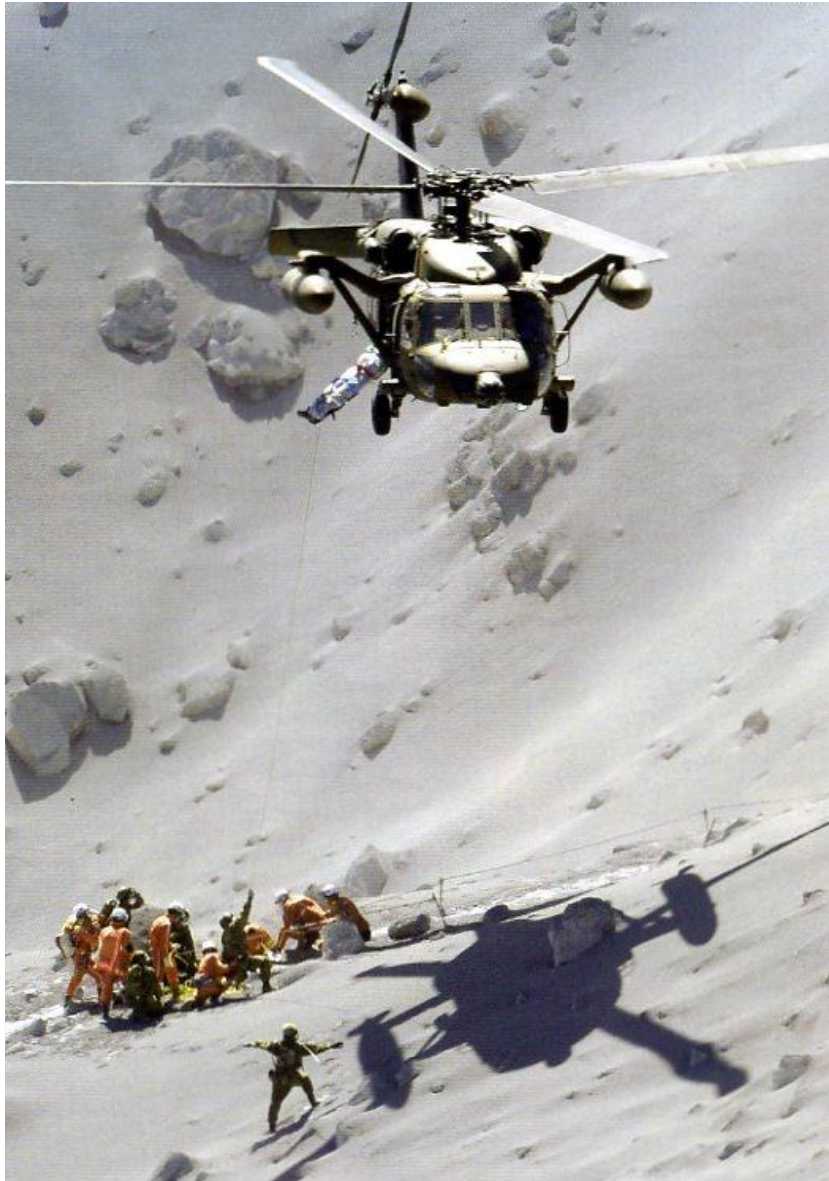
◀ 御嶽山大噴火 (2014.9.27) ▶



<http://mainichi.jp/graph/2014/09/27/20140927mog00m040999000c/005.html>

(「緊急報道写真集 御嶽山噴火」
信濃毎日新聞社 から転載)





(「緊急報道写真集 御嶽山噴火」 信濃毎日新聞社 から転載)

■2011.3.11を忘れてはならない■



2011年3月13日：宮城県名取市 「東日本大震災（朝日新聞出版）」

■2011.3.11を忘れてはならない■



2011年3月13日：宮城県女川町

2011年年3月13日：宮城県岩沼市

■2011.3.11を忘れてはならない■



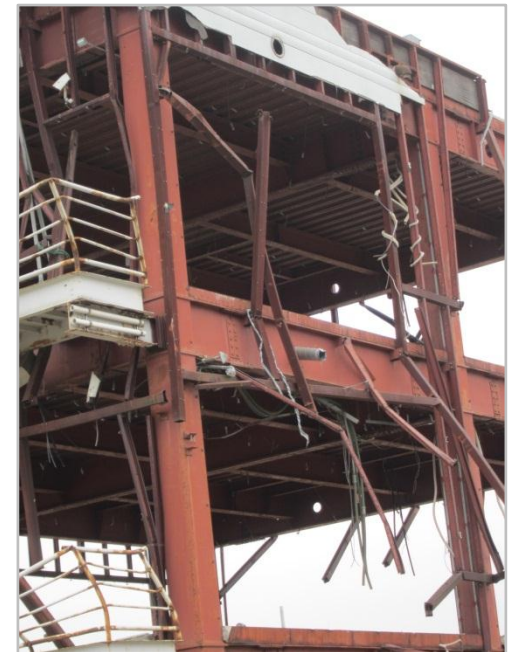
2011年4月11日：岩手県陸前高田市
「東日本大震災（朝日新聞出版）」



2011年3月12日
宮城県仙台市



2011年4月1日
宮城県気仙沼市



防災対策庁舎

■被災地の現在（宮城県南三陸町）■

(2015.8.11撮影)





自らの被災体験を話す田畑さん 22日午後、那須烏山市

代表 田畑 祐梨

震災から3年 ～震災の経験を未来につなげる集い～

日時：2014年3月22日
会場：南那須公民館(那須烏山市)
主催：災害ボランティアチーム龍JIN

基調講演は田畑祐梨さん (宮城県南三陸町の高校3年生)

会えることが力に
田畑さんら被災経験語る 那須烏山

東日本大震災の風化を防ごうと、シンポジウム「震災から3年 震災の経験を未来につなげる集い」那須烏山市災害ボランティアチーム龍JIN主催が22日、同市岩子の南那須公民館で開かれた。市内外から約150人が参加。被害に遭った宮城県南三陸町の高校生や石巻市の被災者の訴えを聞き、今後の被災地支援の在り方を考えた。

まず同町の高校生主体の語り部グループ「まずもつて」からかたからきていきいん代表の3年、田畑祐梨さん(18)が基調講演した。グループ名は、地元の方言で「ひとまずお話をするの聞いてください」という意味で、昨年3月11日の結成後、4千人以上に被災経験を語ってきた。

家を失い仮設住宅で過ごす

してきた田畑さんは、津波でなくなった恩師に「ありがとう」と言えなかったことを毎日後悔している」と明かし、「私と同じ思いをしほしくないで、周りに人に『ありがとう』と好き」と伝えてほしいと呼び掛けた。

パネルディスカッションでは、石巻市鮎川浜の仮設住宅区長を務める古内勝治さん(70)が「東京オリンピックが先に立ち、被災した私たちの復旧工事が後回しになっている」と被災地の現状を憂慮した。

津波で妻が行方不明となり、自宅跡周辺で「石巻焼きそば」を販売する尾形勝きさん(69)は「心のケアになるような活動を継続してほしい」と要望。田畑さんは「私たちに会いに来てほしい。被災者は会いに来てくれるその日まで頑張ることができると力説した。

最後は参加者全員が手を取り合い、唱歌「ふるさと」を熱唱。支援を通して結ばれた絆を確かめた。

(沼尾歩)



被災した防災対策庁舎



2015.3.8撮影

下野新聞
2014.3.23

宮城県岩沼市の「震災復興計画」



完成イメージ図



■震災復興まちづくり■

ボランティアの役割

『女子の暮らしの研究所』

18歳以上ママ未満の女性グループによる
震災を伝える取組み



(「土木学会誌Vol.99 NO.3 March」から抜粋)

■ 少子高齢化社会とまちづくり ■

東京への
一極集中！

近年のわが国の現状

少子高齢化・地方から大都市への人口移動



《 地方都市の課題 》

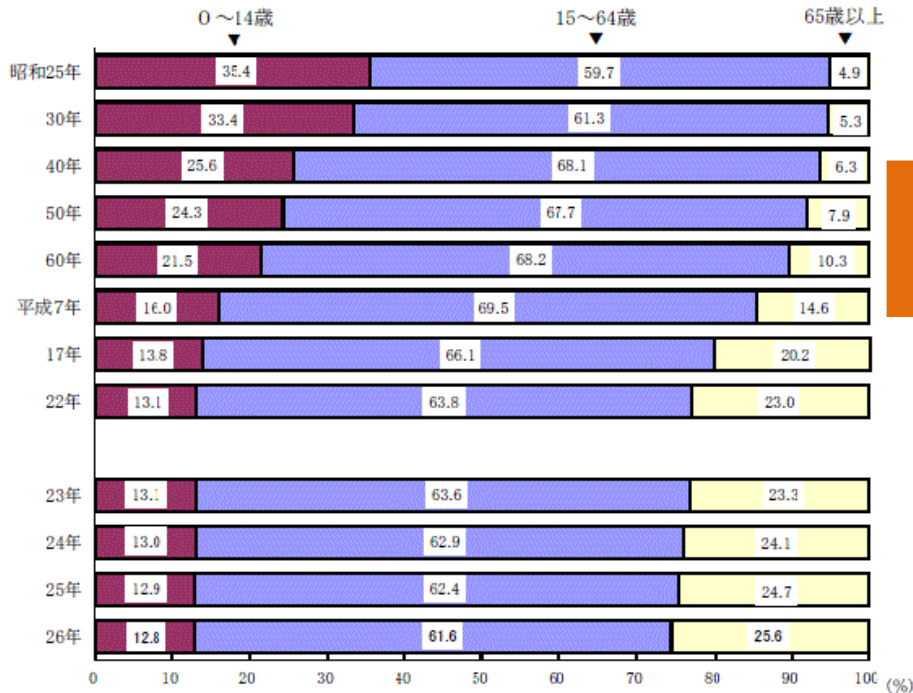
若年労働者
層の流出

中心市街地
の空洞化

財政基盤
の脆弱化

■ 少子高齢化社会とまちづくり ■

図2 年齢3区分別人口の割合の推移



資料：「国勢調査」による人口及び「人口推計」による人口
注）平成25年及び26年は4月1日現在、その他は10月1日現在

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi821.htm#a1-1>

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/140508/trd14050817430017-n1.htm>

■ 少子高齢化の進行

《1955年》

15歳未満：33.4%

65歳以上：4.9%

《2014年》

15歳未満：12.8%

65歳以上：25.6%

■ 15歳未満人口（2014年）

1,633万人

*前年比 16万人減

*33年連続の減少

■ 生産者年齢人口（15～60歳）

7,901万人：2014年

*前年比100万人超減

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/140417/plc14041703250005-n1.htm>

◆ 日本創生会議（2014.5.8） ◆

■ 2040年 896市町村消滅

*全国の49.8%

*内、523市町村が1万人割れ

■ 少子高齢化社会とまちづくり ■

まち・ひと・しごと創生本部

募集中

「地方創生★政策アイデアコンテスト2015」募集要項

募集テーマ

あなたが暮らす、または、ゆかりのある地域の現状・課題について、「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を使って分析し、そのうえで解決策となるような政策アイデアをご提案ください。あなたの地域の未来をよりよく変えていく、創意あふれるご提案をお待ちしています。以下の(A)～(E)の中からテーマを選択し、政策アイデアをご提案ください。特に、複数のテーマを組み合わせた提案を歓迎いたします。

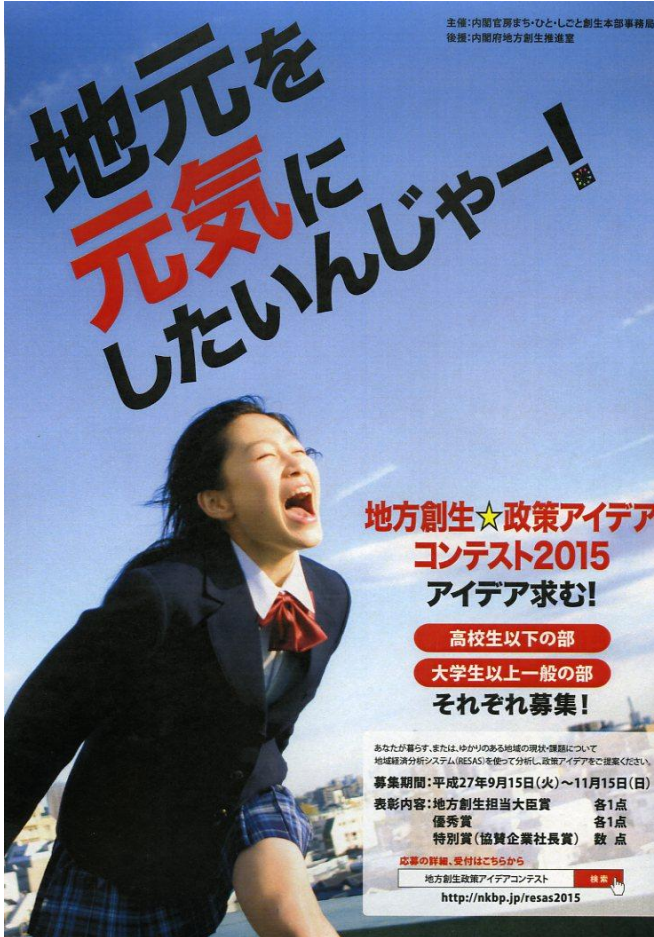
- A: 地域の人口減少・少子高齢化を〇〇で解決する
- B: 地域への観光客、まちの賑わいを〇〇で増やす
- C: 地域の〇〇産業(農業含む)を〇〇で元気にする
- D: 地域経済を〇〇で元気にする
- E: その他

募集期間

平成27年9月15日(火)～11月15日(日)

募集区分

● 高校生以下の部 ● 大学生以上一般の部 ※複数人のグループでの応募も可能です(学校やクラスでの応募も可能です)。



主催:内閣府まち・ひと・しごと創生本部事務局
後援:内閣府地方創生推進室

地元を 元気に したいんじゃー!

**地方創生★政策アイデア
コンテスト2015
アイデア求む!**

- 高校生以下の部
- 大学生以上一般の部

それぞれ募集!

あなたが暮らす、または、ゆかりのある地域の現状・課題について
地域経済分析システム(RESAS)を使って分析し、政策アイデアをご提案ください。

募集期間:平成27年9月15日(火)～11月15日(日)

表彰内容:地方創生担当大臣賞	各1点
優秀賞	各1点
特別賞(協賛企業社長賞)	数点

応募の詳細、受付はこちらから
地方創生政策アイデアコンテスト <http://nkbp.jp/resas2015>

■ 少子高齢化社会とまちづくり ■

これまで

中心市街地の街路・駐車場など、大規模な資金投入によるインフラ整備

これから

身近な地域資源の活用により、地域振興に結び付ける試み

資金の投下に
依存しない

財政基盤の脆弱な地方都市
にとって有効な手法！

身近な地域資源
の活用

古い土木構造物や近代化を推進してきた
歴史的建造物をまちづくりに活用する試み

学術的意義・
関心の高まり

文化遺産という
概念の拡大と浸透



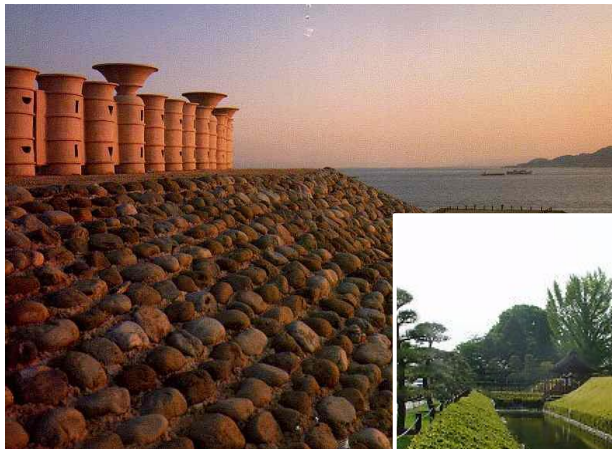
碓氷第三橋梁
(群馬県安中市)



藤倉ダム
(秋田県秋田市)

■ 歴史的建造物の意味 ■

《 土木・建築 歴史的建造物の蓄積 》



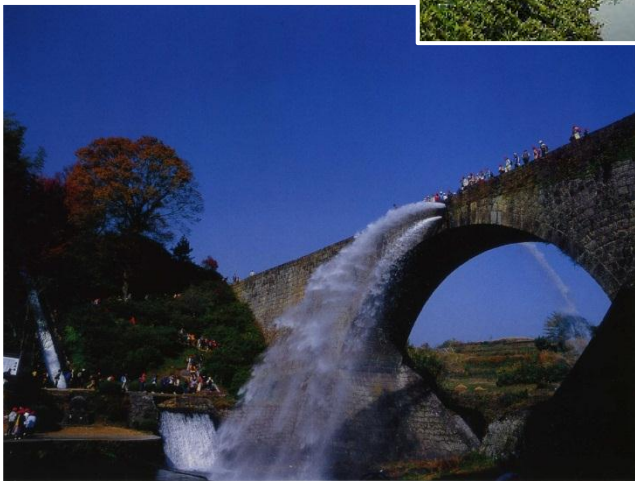
神戸・五色塚古墳（古代）

足利学校 堀と堤防（中世）



栃木・シモレン煉瓦窯（近代）

熊本・鞘橋（近世）



熊本・通潤橋（近世）



鎌倉・若宮大路の段葛（中世）



東京駅（近代）



■ 歴史的建造物の意味 ■

《 時代区分について 》

原始 ↔ 縄文・弥生

古代 ↔ ヤマト・奈良・平安

中世 ↔ 鎌倉・南北朝・室町・戦国

近世 ↔ 江戸

近代 ↔ 明治・大正・昭和前期

現代 ↔ 昭和後期・平成

■ 歴史的建造物の形成背景 ■

《 近代という時代相：国づくりの理念 》



(岩倉具視の欧米視察)

理念

富国強兵
殖産興業

- 欧米の最新技術・文化・制度を積極的に移植導入
- 重要産業に対する政策は直営主義が基本
- 土木技術は、産業・交通基盤を整備するため重要視
- 欧米諸国から技術者を迎えて事業を推進

お雇い
外国人？

■ 歴史的建造物の形成背景 ■

《 近代という時代相：国づくりの理念 》

中央官省の設置



1870 (明治3) 年



1873 (明治6) 年



1869 (明治2) 年

百工勸奨を司る

鉱山・製鉄・鉄道
燈明台・電信等の
ことを支配する

民間企業の育成

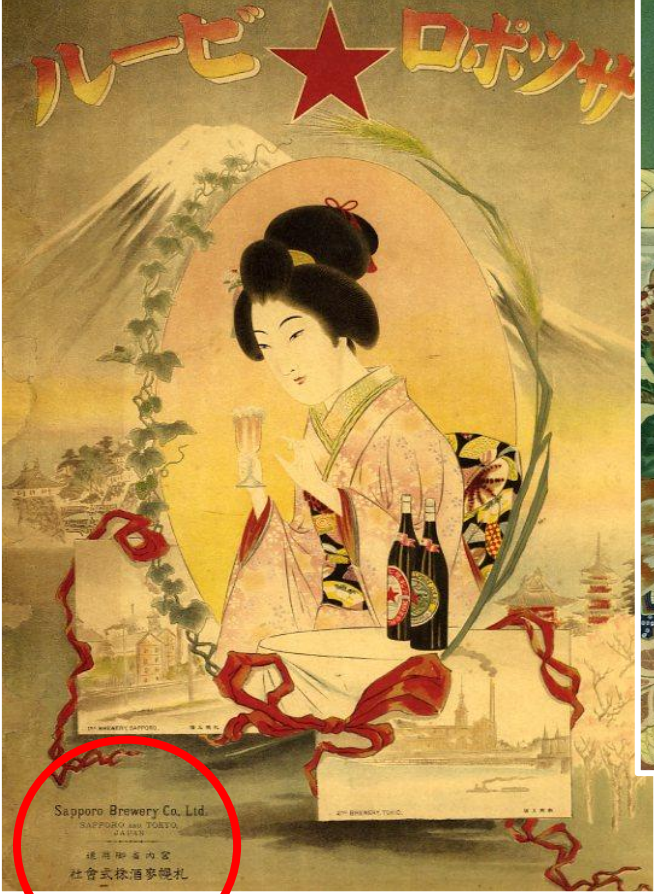
富岡製糸場
堺紡績所
内藤新宿試験所、など

農牧場・醸造所

真駒内牧牛場
札幌緬羊場
札幌麦酒醸造所、など

大麦・ホップ等
の育成が目的！

■ 歴史的建造物の形成背景 ■



口にキリンビールを味はふは
目に美人を見るが如し
(明治屋ポスター)

札幌冷製麦酒発売：明治10年
キリンビール：明治21年
エビスビール：明治22年
アサヒビール：明治25年

■ 歴史的建造物の形成背景 ■

殖産興業

■ 交通基盤整備

- ◇ 沿岸航路と内陸舟運網の近代化・・・内務省
- ◇ 新しい陸上交通・鉄道網の建設・・・工部省

■ 利水基盤整備

- ◇ 近代農業水利事業の展開・・・安積疏水など
- ◇ 水力発電事業の展開・・・琵琶湖疏水など



琵琶湖疏水（京都府）



野蒜築港（宮城県）



安積疏水・十六橋水門
（福島県）

■ 歴史的建造物の形成背景 ■

お雇い外国人？

政府・地方庁・民間財閥が雇用

総数

2,299人
(明治元年～明治22年)

英928人、米374人、仏259人、蘭87人……

土木
関係

146人

鉄道59人、測量31人、
電信・鋳山 各14人
治水港湾11人

■ 歴史的建造物の形成背景 ■

お雇い外国人？



ラフカディオ・ハーン (ギリシャ)
文学/1890~1904年



ウィリアム・S・クラーク
(札幌農学校)



教育/1876~1877年
“Boys be ambitious”



エドモンド・モレル (英)
鉄道建設/1870~1871年
下：開業当初の新橋駅



ポール・ブリュナ (仏)
産業/1890~1904年



ヨハネス・デ・レーケ (蘭)
河川・港湾/1873~1903年

コーネリス・ファン・ドールン (蘭)
治水/1872~1880年



■ 歴史的建造物の形成背景 ■

日本人技術者の自立

- お雇い外国人をとおして、欧米諸国の最新技術の移転吸収につとめた。
- お雇い外国人が果たした功績は大きい。
- これら外国人技術者の指導・薫陶を受けて日本人技術者が育ち、さらに、留学生たちが帰国することにより、多くの部門で自立していった。

企画
立案

計画
設計

施工

長期的・
大規模化

成績優秀により官費留学
古市 公威
(フランス・エコール・サントラル)

青山 士
(東京大学卒業後、渡米。
パナマ運河建設に従事)

殖産興業政策が結実していったことを意味する！

《 明治の土木技術者の使命感 》



古市 公威

「余は学者に非ず、実業家に非ず、技術者に非ず、行政課に非ず、色彩極めて分明ならざる鶴的人間と称すべきか」

- 1854年～1934年
- 江戸の姫路藩中屋敷に生まれる。
- 開成学校のフランス語を修める。
- 1875年、わが国初の文部省留学生としてフランスに派遣される。
- 1876年、エコール・サントラル（中央工学校）に入学。
- 1886年新設された帝国大学工科大学校教授兼学長に任じられる。
- 河川・運河および港湾工学を講義。
- 初代学長として学内の統制、学科の整備など草創期における教育行政の任にあたった。
- 1890年、工科大学校教授と学長を兼務のまま、内務省土木局長となる。
- 同年、貴族院勅選議員。
- 朝鮮総督府鉄道管理局庁長官、土木学会初代会長、日仏協会理事長など

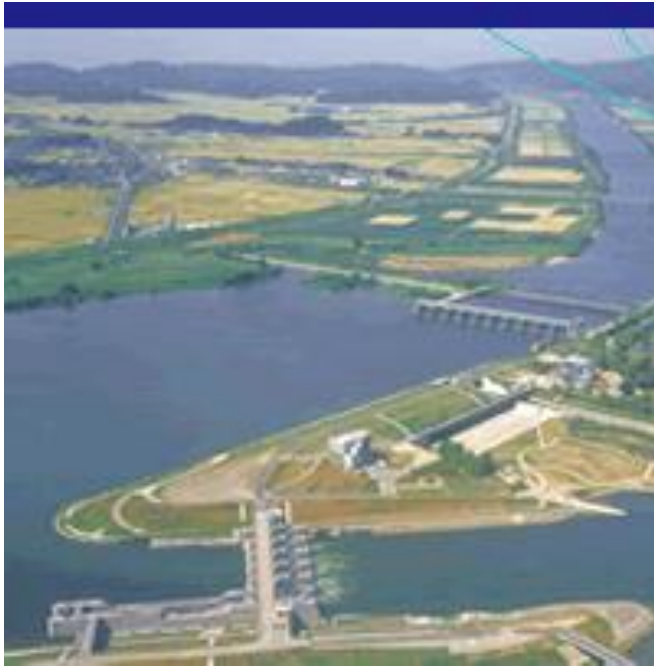
《 明治の土木技術者の使命感 》



青山 士

- 1879年～1963年
- 東京帝国大学工科大学土木工学科卒
- 当時の主任教授・廣井勇の薫陶を受け、卒業と同時に単身パナマ運河建設に飛び込む
- 1904年、ICC（地峡運河委員会）の職員に採用される
- ポール持ちから出発し、1907年には優秀さが認められ、測量主任として大西洋建設部のガツン閘門ダム現場に配置替えとなる
- 1910年、ガツン設計班のドラフトマン（主任設計技師）
- 1911年、完成を前に帰国
- 内務省技師として、荒川放水路や大河津分水路建設を指揮
- 1935年、土木学会会長

《 明治の土木技術者の使命感 》



大河津分水路
(1931年竣工)

竣工記念碑碑文

表：「万象二天意ヲ覚
ル者ハ幸ナリ」

裏：「人類ノ為メ
國ノ為メ」

「我々が死ぬときには、我々が生まれた時より世の中を、
少なくともよくしていこうではないか」

(ジョン・ハーシェル)

■ 歴史的建造物の現代的意義 ■

《 今なぜ近代化遺産化か？ 近代化遺産を学ぶ意義 》

昭和後期

産業構造の変化
都市化の進展

スクラップ&ビルド
の進行

わが国の近代化に貢献した遺産が、十分にその価値が顧みられることがないままに撤去・更新されていく危機感

↓

歴史・文化の保護

各都道府県が事業主体となり、管内の近代化遺産を調査
.....遺産の価値等に応じて文化財指定・登録

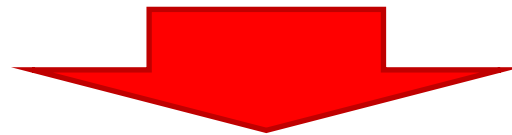
文化庁

1990年『近代化遺産全国総合調査』

■近代化遺産とは?■

文化庁の造語

黒船の来航によって国が開かれた幕末から明治・大正・昭和初期にかけて、新しい技術や文化・制度の導入によって建設された産業・交通・土木・軍事・教育文化施設等、日本の近代化に貢献してきた構造物や建造物。



現在の文化の直接の基盤になった身近な文化財!

《 産 業 》



富岡製糸場（群馬県富岡市）



足尾銅山通洞坑口（栃木県日光市）

《 交 通 》



清洲橋（東京都江東区・中央区）



北吸トンネル（京都府舞鶴市）

《 土 木 》



駒沢給水塔（東京都世田谷区）



牛伏川フランス式階段工（長野県松本市）

《 学 校 》



旧登米高等尋常小学校（宮城県登米市）

《 軍 事 》



猿島要塞（神奈川県横須賀市）

■近代化遺産保護への取組み■

1996(平成8)年2月「国宝及び重要文化財(建造物) 指定基準」の改正

- …「建築物」・「その他工作物」に、「土木構造物」が加えられた
(産業・交通・土木：71件、平成26年5月16日現在)



那須疏水（栃木県那須塩原市）



古河橋（栃木県日光市）

■近代化遺産保護への取り組み■

1996(平成8)年10月「文化財保護法」の改正

10月6日
登録の日
(平成17年)

築50年

「文化財登録制度」の創設

- 近代に建造された物件を中心に登録が進んでいる



長浜大橋 (愛媛県大洲市)



近代水道緑町配水場 (栃木県足利市)

「建築物」.....7369件
「土木構造物」.....540件

2013(平成25)年7月19日
文化審議会答申

平成26年度(第17回)全国近代化遺産活用連絡協議会 若桜大会

鉄道遺産を守る・活かす

近代化遺産としての視点から

日時 | 7月3日(木)
平成26年 15:00~18:30

会場 | 若桜学園さくらホール
鳥取県八頭郡若桜町浅井289(下園参加)

入場無料・申込不要

■開会あいさつなど 15:00~15:20

■基調講演 15:20~16:20
「近代化遺産としての鉄道」
堤 一郎 氏(公益財団法人 交通協会 主任研究員)

■基調報告 16:20~16:50
「地域鉄道支援の取組」 波戸岡 健吾 氏(国土交通省 中国運輸局鉄道部 計画課長)
「鉄道関連の文化財建造物について」 武内 正和 氏(文化庁参事官付文化財調査官)

■パネルディスカッション 17:00~18:30
「鉄道を活かした地域活性化」
コーディネーター 中原 斉 氏(鳥取県埋蔵文化財センター 所長)
パネラー 樺澤 豊 氏(わたらせ渓谷鐵道株式会社 代表取締役社長)
吉田 博一 氏(NPO法人 加悦鐵道保存会 会長)
西村 昭二 氏(若桜鉄道沿線活性化協議会 会長)

お問い合わせ先
若桜大会事務局
若桜町教育委員会事務局
〒680-0701 鳥取県八頭郡若桜町若桜757
TEL.0858-82-2213

鳥取県近代を支える

鳥取県近代建造物

Wakasa Railway
Museum Guidebook

若桜鉄道まるごと
ミュージアムガイドブック

会事務局文化財課

ここは、やまがの鉄道博物館

《h26全近フォーラム・若桜大会》



《h26全近フォーラム・若桜大会》

土木学会選奨土木遺産 若桜橋



■近代化遺産の観光資源としての活用■ 《日本建築家協会》

2014.5.24-25 長野県諏訪市・岡谷市

**第23回
保存問題
長野大会**
in 諏訪・岡谷

Revenge
~~2.15 sat - 2.16 sat~~
5.24 sat - 5.25 sun

「保存は未来への創造である」

近代産業の衰退の影響と保存建築物の活用



**2014
5.24 sat - 5.25 sun**

5.24 sat 5.25 sun

I. 岡谷市周辺の近代化遺産視察①
▶丸山タンク ▶株式会社金上蔵倉庫
▶旧山一林組製糸事務所 ▶旧林家住宅

II. 諏訪市周辺の近代化遺産視察②
▶片倉館

III. 懇親会：かたくら諏訪湖ホテル

I. 岡谷市内の近代化遺産見学③
▶旧片倉組事務所 ▶初代片倉兼太郎生家
▶旧岡谷市役所庁舎

II. 基調講演：藤森照信 ※会場：テクノプラザおかや(一般の方、入場無料)
(建築史家・建築家/工学院大学教授、東京大学名誉教授)

III. シンポジウム：「保存は未来への創造である」

主 催 公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)
関東甲信越支部 保存問題委員会、長野地域会

後 援 岡谷市・岡谷市教育委員会、片倉工業株式会社、財団法人片倉館
かたくら諏訪湖ホテル、信濃毎日新聞社、新建新聞社、長野日報社
株式会社岡谷市民新聞社 信州・市民新聞グループ (7社)
一般社団法人 長野県建築士会、一般社団法人 長野県建築士事務所協会

問合せ JIA 関東甲信越支部事務局 tel 03-3408-8291



Photo: K.Arimoto



(公社) 日本建築家協会 関東甲信越支部 第23回保存問題長野大会

「保存は未来への創造である」

近代産業の衰退の影響と保存建築物の活用

主催：公益社団法人 日本建築家協会
関東甲信越支部 保存問題委員会、長野地域会

後援：岡谷市・岡谷市教育委員会、片倉工業株式会社、財団法人片倉館
かたくら諏訪湖ホテル、信濃毎日新聞社、新建新聞社、長野日報社
株式会社岡谷市民新聞社 信州・市民新聞グループ (7社)
一般社団法人 長野県建築士会、一般社団法人 長野県建築士事務所協会

■ 会 期：2014年(平成26年)★5月24日(土)・25日(日)

■ 概 要：2月に予定していた本大会は、大雪のため直前に中止になりましたが、その後多くの会員や大会関係者に励ましを頂き、今般、2年という準備期間を活かし、5月に改めて開催することになりました。
保存問題大会は、一度だけのイベントにすることなく、社会への持続可能な運動としてリベンジさせて頂きたいと思っております。改めてスクラップ&ビルドの時代を脱却し、新たな創造への道を発見する大会にしたいと考えています。

★5月24日(土) エクスカーション1 ・ 懇親会	
12:00～13:00	岡谷市 イルフプラザ3階 ホール 受付
13:00～14:30	丸山タンク～株式会社金上蔵倉庫～旧山一林組製糸事務所・守衛所 見学
14:30～14:45	<イルフプラザ駐車場より貸切バスで移動>
14:45～17:30	旧林家住宅～片倉館 見学
19:00～21:00	懇親会・宿泊：かたくら諏訪湖ホテル

★5月25日(日) エクスカーション2 ・ シンポジウム	
7:30～8:30	かたくら諏訪湖ホテル ロビー 受付
8:30～9:30	<かたくら諏訪湖ホテルより貸切バスにて岡谷市へ移動>
9:30～10:30	旧片倉組事務所～初代片倉兼太郎生家 見学
10:30～11:00	<貸切バスにて移動>
11:00～12:00	旧岡谷市役所庁舎 見学
12:00～13:00	シンポジウム受付 昼食 (旧岡谷市役所庁舎から徒歩にてシンポジウム会場へ向かって下さい)
13:00～16:00	シンポジウム (I 基調講演 II パネルディスカッション 会場：★テクノプラザおかや)

《日本建築家協会》



丸山タンク



一斗缶張り壁




近代化産業遺産
 平成19年度 経済産業省


HERITAGE OF INDUSTRIAL MODERNIZATION
 経済産業省認定 近代化産業遺産
株式会社 金上蘆蔵
 岡谷に残る数少ない蔵蔵、この建物は木造3階建土蔵で切妻造、鉄板葺（本来は鉄平石瓦葺）で全体が白漆喰塗り仕上げとなっている。
 特徴は ① 人口の土戸が大きく、土蔵の延長としての蔵蔵
 ② 3階部分の軒が低い
 ③ 置屋根（薪組）形式となっている。
 以上より建築年代は明治時代前期と推定され蔵蔵の中では草創期といえる古い形式のものである。
 岡谷市本町2丁目5番8号

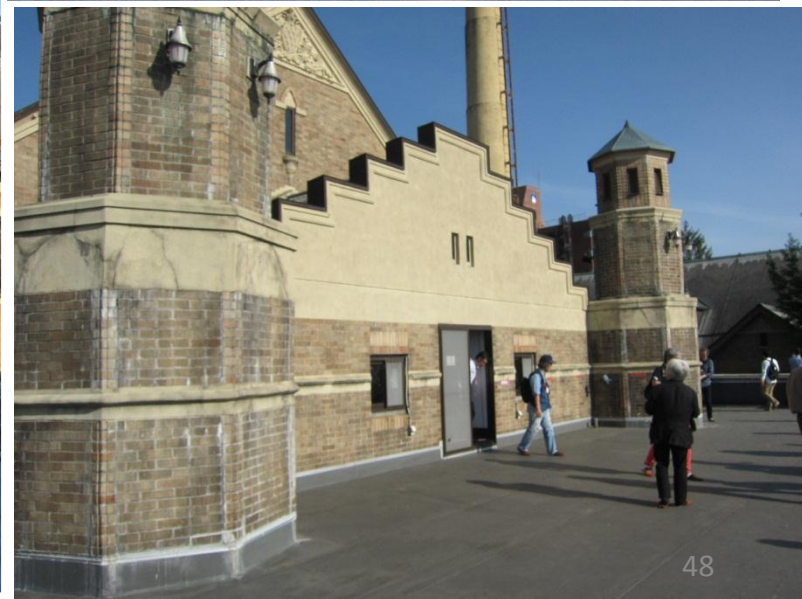
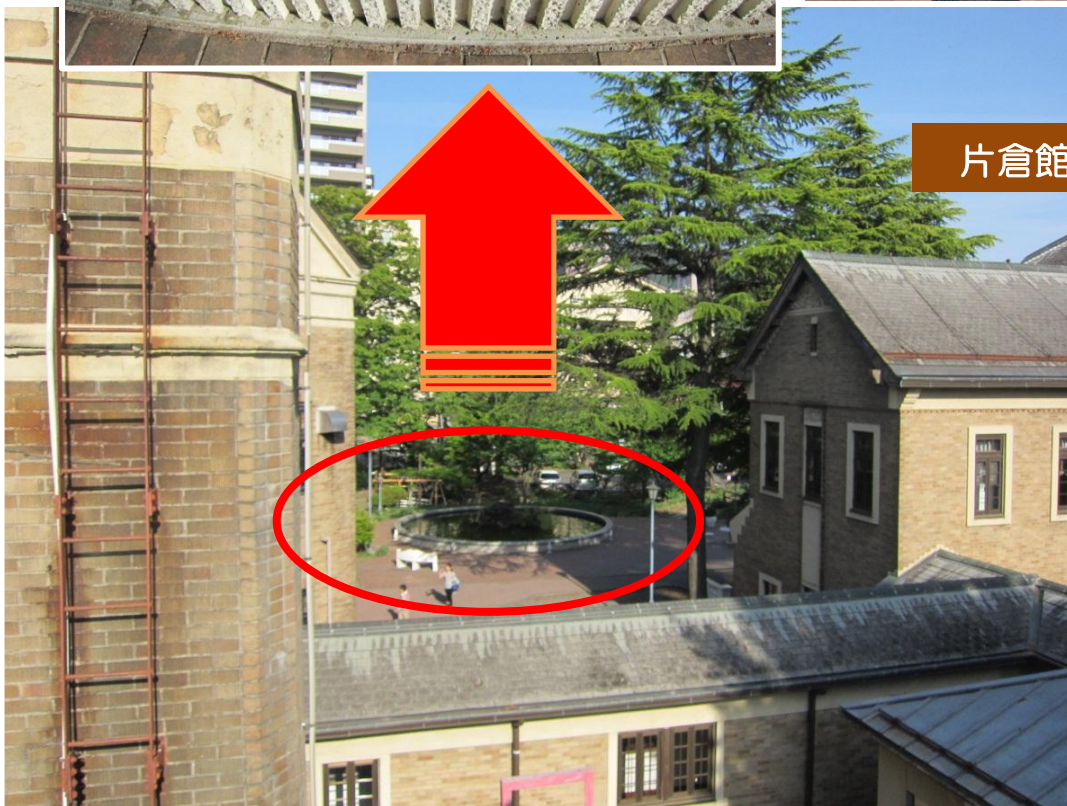


金上蘆倉庫

《日本建築家協会》



片倉館（噴水・石垣）



《 全国産業観光フォーラム 》 2014.10.30-31



秋田県 小坂町

再生として未来へ

『鉱山が残した町』小坂からはじまる
自然・環境・産業が調和した観光とまちづくり

全国広域観光振興事業

全国産業観光フォーラム

フォーラム・宿泊プラン等のお申し込み

2014年 10月30日・31日

会場/小坂町康楽館
分科会/小坂鉱山事務所・小坂鉄道レールパーク(小坂駅)
交流会/小坂町交流センター

〔承諾番号13187〕

鉱山の技術と遺産を新たな産業と観光に一。

秋田県北西部に位置する小坂町は、江戸時代末期に銀が発見された鉱山の町。明治時代後期に銅山として大きく発展を遂げた。その繁栄のシンボルが重要文化財である康楽館と小坂鉱山事務所。これらは近代化産業遺産として保存され、今もなお活用されている。

現在の小坂町は、小坂鉱山で培われた高度な製錬技術を活かした資源リサイクルに取り組み、十和田湖に代表される美しい景観とともに、自然・環境・産業とが調和した観光振興を目指しています。

また、今年9月には廃線となった旧小坂鉄道の線路や設備を活用した体験型施設「観て・学んで・体験できる」小坂鉄道レールパークをオープンさせ、新たな産業観光に取り組んでいます。

2014 10/30 分科会・全体会(式典、記念講演、記念鼎談ほか)・交流会

9:00～13:00	町内施設随時見学	(会場) 康楽館・小坂鉱山事務所
9:00～17:00	特産品販売・企業製品の展示等	(会場) 天徳館・小坂鉱山事務所
10:00～13:30	受付・総合案内	(会場) にぎわい拠点施設
13:30～15:00	分科会 (敬称略)	
	1 近代化産業遺産群 ～華やかな鉱山の文化と遺産を後世に伝える～	
	■コーディネーター 丁野 龍 (公益社団法人日本観光振興協会 常務理事 総合調査研究所所長)	
	■パネラー 高原 一徳 (株式会社ゴールデン佐渡 史跡佐渡金山 代表取締役)	
	市毛 理 (NPO法人共栄館を考える集い)	
	高橋 竹晃 (小坂まちづくり株式会社 代表取締役社長 康楽館長(第一分科会 会場) 康楽館)	
	2 環境リサイクル産業 ～最先端のリサイクル技術と産業観光の原点を探る～	
	■コーディネーター 加藤 秀和 (一般財団法人国際資源開発研修センター 研修企画部長)	
	■パネラー 中村 崇 (東北大学多元物質科学研究所 教授)	
	仲 博之 (DOWAエコシステム株式会社 リサイクル事業部長)	
	光原 裕 (小坂製錬株式会社 代表取締役社長 (第二分科会 会場) 小坂鉱山事務所)	
	3 廃線鉄道 ～産業遺産を活かすネットワークと新たなにぎわい創出～	
	■コーディネーター 米山 淳一 (地域遺産プロデューサー)	
	■パネラー 小田 由 (特別開工金事務所 ふるまきと節河橋りくべつ鉄道プロジェクト委員)	
	田口由加子 (NPO法人神楽町づくりネットワークレールマウンテンパーク事務局)	
	小柳木茂之 (NPO法人大蔵・小坂鉄道レールパーク理事長)	
	千葉 裕之 (小坂鉄道保存会長 (第三分科会 会場) 小坂鉄道レールパーク)	
15:15～16:00	全体会 式典 産業観光まちづくり大賞表彰式 (活動内容紹介)	(会場) 康楽館
	「『鉱山が残した町』小坂からはじまる 自然・環境・産業が調和した観光とまちづくり	
16:00～17:30	記念講演 八幡 和郎氏 評論家 徳島文理大学大学院教授 記念鼎談 吉川 廣和氏 小坂町観光大使 (DOWAホールディングス株式会社名誉相談役) 見並 陽一氏 小坂町観光大使 (公益社団法人日本観光振興協会理事長) 八幡 和郎氏 評論家 徳島文理大学大学院教授 進行 蘆 幸子氏 日経BPヒット総合研究所長 執行役員 (会場) 康楽館	
17:30～18:15	分科会報告・総評・次期開催地紹介	(会場) 康楽館
18:30～20:00	交流会 (地元産品・農産物・水産物・地産物をご堪能ください)	(会場) 小坂町交流センター

エクスカーション

- ① 闇に甦る黄金歴史街道コース
- ② 十和田湖とひめますコース
- ③ 都市鉱山コース
- ④ リサイクル企業コース
- ⑤ 史跡尾去沢鉱山コース

《 全国産業観光フォーラム 》



康楽館
(明治の芝居小屋/明治43年)



小坂鉱山事務所 (明治38年)



共用柱 (明治38年)

《 全国産業観光フォーラム 》



小坂鉄道レールパーク



■近代化遺産の観光資源としての活用■



土木学会
100周年記念事業



全国建設研修センター
50周年記念事業

選奨土木遺産台湾ツアー

「烏山頭水庫と台南水道」

台南・台北4日間

台北賓館(旧台湾総督官邸)特別開放見学
アニメ映画「パッテンライ!!」の現場を訪ねて

2012年10月11日(木)発

初日の宿泊は烏山頭水庫風景区にあるホテルです。翌朝、朝もやのダム周辺を散策しませんか！





■旅行代金(お一人当たり)

羽田発着	中部発着	関西発着
98,000円	100,000円	105,000円

※2名様で一室利用時のお一人様料金です。
 ※旅行代金には、国内空港施設使用料及び旅客保安サービス料(羽田2,000円、中部2,500円、関西2,650円)
 海外空港諸税(900円)、航空保険料金及び保安料(700円)
 燃油サーチャージが含まれていません。
 ※燃油サーチャージは5月15日現在
 羽田・関西発着13,000円、中部発着12,200円
 原油価格の変動により変更になる場合があります。

■旅行期間
 2012年10月11日(木)～10月14日(日) 4日間

- 選奨土木遺産台湾ツアーの特徴
- ▶土木学会2009年度選奨土木遺産 ～烏山頭水庫視察(台湾/台南県官田郷)
 竣工1920年 八田與一氏(石川県金沢市出身1886～1942)の設計と施工監理による当時のアジア最大のダムで、灌漑により嘉南平原を一大穀倉地帯に変貌させる貢献が評価。
 - ▶土木学会2010年度選奨土木遺産 ～台南水道(台湾/台南県山上郷)
 竣工1922年 浜野弥四郎氏(千葉県佐倉出身1869～1932)の計画・設計と施工監理による当時の最新技術である急速濾過法を採用した大規模な浄水場で、「台南水道(現山上浄水場)」により飲用水不足は一気に解決。
 - ▶台北賓館(旧台湾総督府官邸)を見学
 1899年起工1901年完成 台湾総督の公邸でもあり、迎賓館として使用され、皇太子時代の昭和天皇をはじめ、数々の要人が宿泊されました。
 1996年までには見学のできなかったところで、今回は開放日の10/13(土)に訪問いたします。
- 土木学会100周年記念事業 全国建設研修センター視察企画
 旅行企画実施 株式会社ユニテッドツアーズ



写真提供：台湾観光協会

台北賓館(旧台湾総督府官邸)
 バロック風の二階建てで珍しい左右非対称の官庁建築。長い間非公開だったが、2006年より年数回の頻度で一般公開されるようになった。
 庭園には南洋植物が植樹され、日本にない樹木、台湾中の植物があり、園内一周で台湾一周したことに似ています。

《土木学会》



長編アニメーション映画

文部科学省選定作品

パッテンライ!!

～南の島の水ものがたり～



嘉南の大地に命を吹き込んだ男がいた

石黒昇 監督作品

主題歌/『受け入れて。』 伊藤 彩
©1998-2008 PATTEN RAI!! PROJECT

制作/パッテンライ!! 製作委員会
 企画/石黒昇
 脚本/伊藤 彩
 監督/石黒昇
 アニメーション/森井博行
 作画監督/藤村一夫
 作画/中野 浩二
 音楽/小宮 浩史
 支線：森文化庁

編集：石川真 / 金沢市
 制作協力：台北駐日経済文化交流センター、台南県観光局
 監修：(株)台北建設協会 / (株) 電気建設協会 / (株) 建築設計協会 / (株) 建設設計協会 / (株) 建設設計協会
 (株) 台北建設協会 / (株) 電気建設協会 / (株) 建築設計協会 / (株) 建設設計協会
 声の出演：井上真央、伊藤 彩、清川純子、藤本まこと、織田ゆう子、後藤 啓



■近代化遺産の観光資源としての活用■

《 NHK文化センター 》

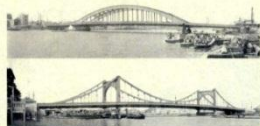


土木遺産を訪ねて ～大東京建設の舞台裏～



私たちの東京はどのように建設されたのでしょうか。家康の江戸建設、明治維新後の近代化、関東大震災からの帝都復興を画期に、ゆかりの土木遺産を専門家とめぐります。

<第1回>7/12 関東大震災と帝都復興 ～東京の礎をつくる～



【永代橋と清洲橋】(建築設計図集 第二輯)復興局土木部稿

講師 東京大学工学部社会基盤学科助教 福島秀哉
関東大震災からの復興(帝都復興事業)にあたって、当時の土木エンジニア達はどのような都市を実現しようとしていたのでしょうか。橋梁、街路、公園など、現在も東京の礎となっている帝都復興事業の成果を巡り、当時のエンジニア達の思いに触れます。

【見学ルート】復興橋梁(清洲橋、永代橋)～濱町公園～復興小学校など

<第2回>8/9 東京駅と高架鉄道～赤煉瓦と赤絨毯～

講師 鉄道総合技術研究所 工学博士 小野田滋

日本で最初の本格的な高架鉄道として完成した東京～浜松町間の赤煉瓦高架橋と、復元工事中の東京駅、その周辺の東京中央郵便局、三菱一号館などを訪ね、明治、大正、昭和の東京の歴史をたどります。

【見学ルート】東京駅丸の内北口～東京駅～行幸通り～中央郵便局～丸ビル～三菱一号館～有楽町付近



<第3回>9/13 大江戸八百八町 城下町建設の舞台裏～日本橋を歩く～

講師 日本大学理工学部准教授 阿部貴弘

家康の江戸建設から四百年。その基盤は、21世紀の東京にもしっかりと受け継がれています。八百八町ともいわれた巨大城下町江戸は、はたしてどのように建設されたのか。江戸・東京の中心地、日本橋を舞台に、城下町建設の舞台裏を訪ねます。

【見学ルート】
東京駅日本橋口～道三堀跡～常盤橋～日本橋駿河町～日本橋地下歩道
～日本橋室町～日本橋



【民州書局蔵江戸庄図】(東京国立中央図書館蔵東京史料文庫所蔵)

- 日時 7/12、8/9、9/13 第2木曜 10:30～13:00
- 受講料 土木学会会員 9,450円 一般 11,340円
NHK文化センター会員 (※各回1回受講あり 会員 3,990円 一般 4,620円)

お申込お問い合わせは **NHK文化センター青山教室まで 03-3475-1151**

ホームページからお申込の方は [NHKカルチャー 青山](http://www.nhkcul.co.jp/school/aoyama/) 検索



■近代化遺産の観光資源としての活用■

《 NHK文化センター 》

好奇心の、その先へ
NHKカルチャー
冬期受講生募集!!
11月26日(水)10:00受付開始
☎027-221-1211

入会金3,240円
中学生以下/
70歳以上は無料

ぐんまの「近代化遺産」の魅力
～世界遺産・富岡製糸場から身近な土木遺産まで～

定利工業大学准教授 福島 二朗 日本大学准教授 阿部 貴弘
元群馬製糸士整備部長 坂尾 博秋

色褪せた煉瓦で積まれたトンネルや工場、見慣れた橋…これらは明治から昭和初期にかけ、欧米の最先端技術で建設された“近代化遺産”です。富岡製糸場はじめ、地域産業発展の基盤になった、もの言わぬ「語り部」たちの知られざる魅力に迫ります。(教室講義)

■ 1/22、2/26、3/26(木) 13:00～14:30
■ 会員 8,100円 一般 9,072円(3回)

大人の休日倶楽部
共催 JR 東日本共催講座
「大人の休日倶楽部」



■ 栃木県の近代化遺産 ■

栃木県の近代化遺産



栃木県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書

2003年
栃木県教育委員会

近代化遺産全国調査（文化庁）

平成2年から始まり
現在も続いている
(毎年2つの県で実施)

栃木県では…
平成13～14年に調査
が行われ、平成15年に
報告書が作成された

■ 栃木県の近代化遺産 ■

433件



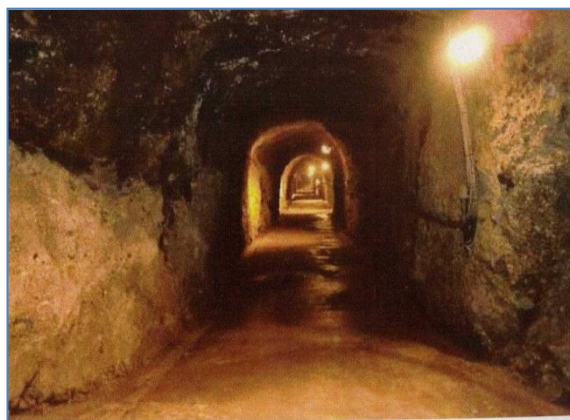
産業：112件



交通・通信：82件



土木：44件



軍事・その他：88件



教育・文化：107件

■足利織物の歴史■

『東大寺要録』

『東大寺要録 卷第六 封戸水田章第八』に、東大寺の封戸として“下野国二百五十戸…**足利郡土師郷五十戸梁田郡深川郷五十戸**…（以下略）”、さらに（下野国に対して）“調庸布千百十端二丈五尺…（以下略）”とあり、現在の足利市域・足利および梁田地域から、東大寺に対して足利産織物が献納されていたことが記されている

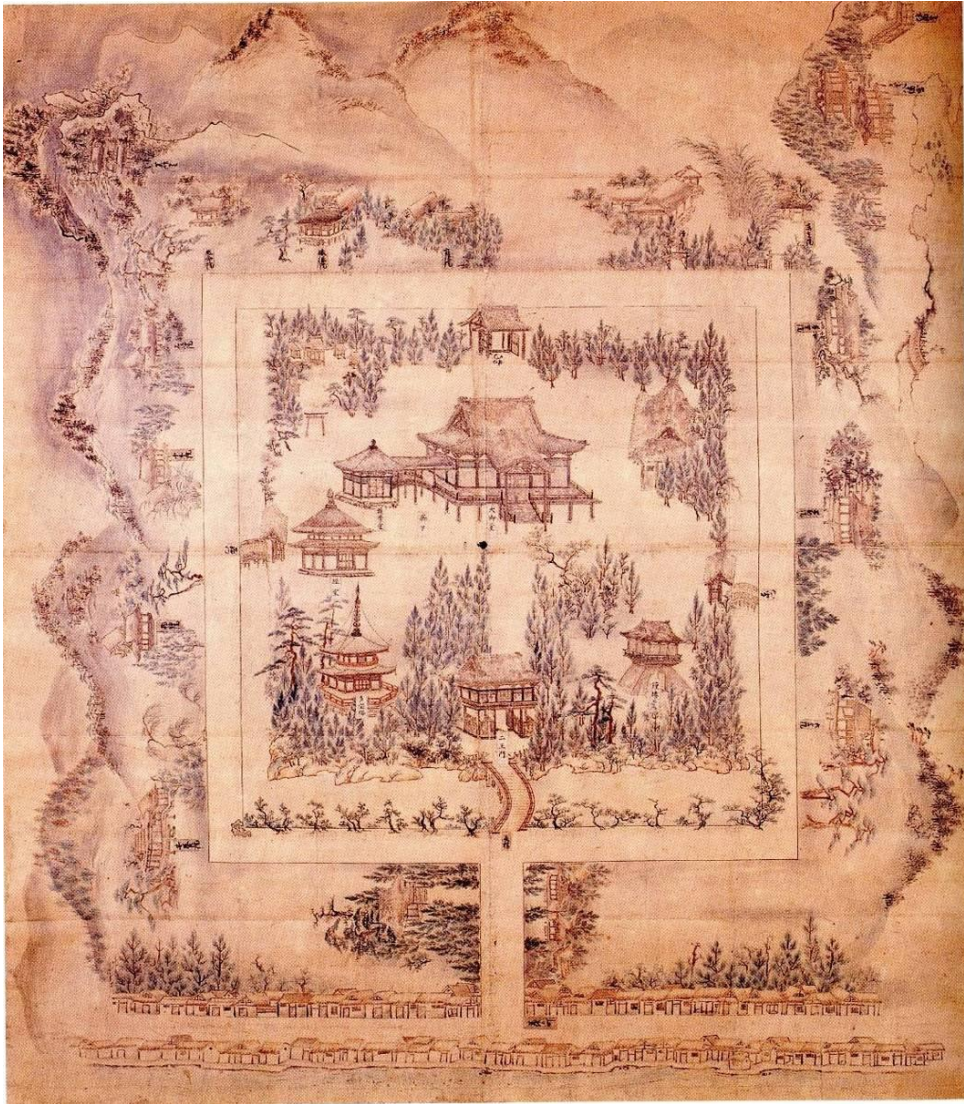
『徒然草』

第二百十六段に、最明寺入道（北条時頼）が足利左馬入道（足利義氏）の饗応を受けた際、“**年毎に給はる足利の染物**、心もとなく候ふ…（以下略）”とあり、毎年様々な色に染められた足利の織物を贈られていたことが記されている

鏝阿寺境内に
石碑がある！

■足利織物の歴史■

《足利氏の氏寺「鏝阿寺」と門前通り》



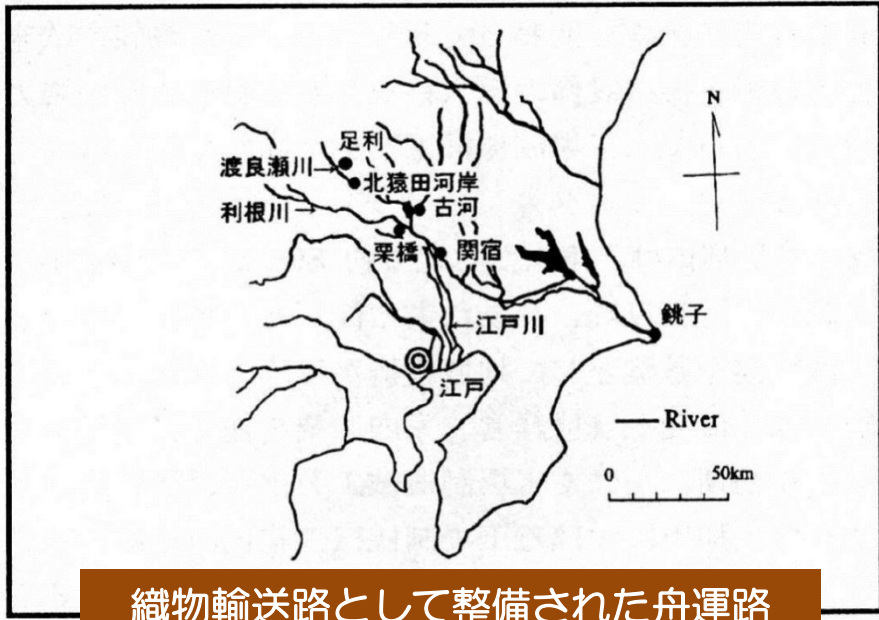
- 創建者は足利氏2代足利義兼（八幡太郎源義家の末流）
- 1196（建久7）年に『御堀内（居館内）』に『持仏堂』を建立したのがはじまり
- 3代義氏が『御堀内』に堂宇の建立や寺内組織などの整備を行う

- 鏝阿寺境内は堀と土塁により囲まれている
- 鏝阿寺境内の南側には門前通りの町並みも見える

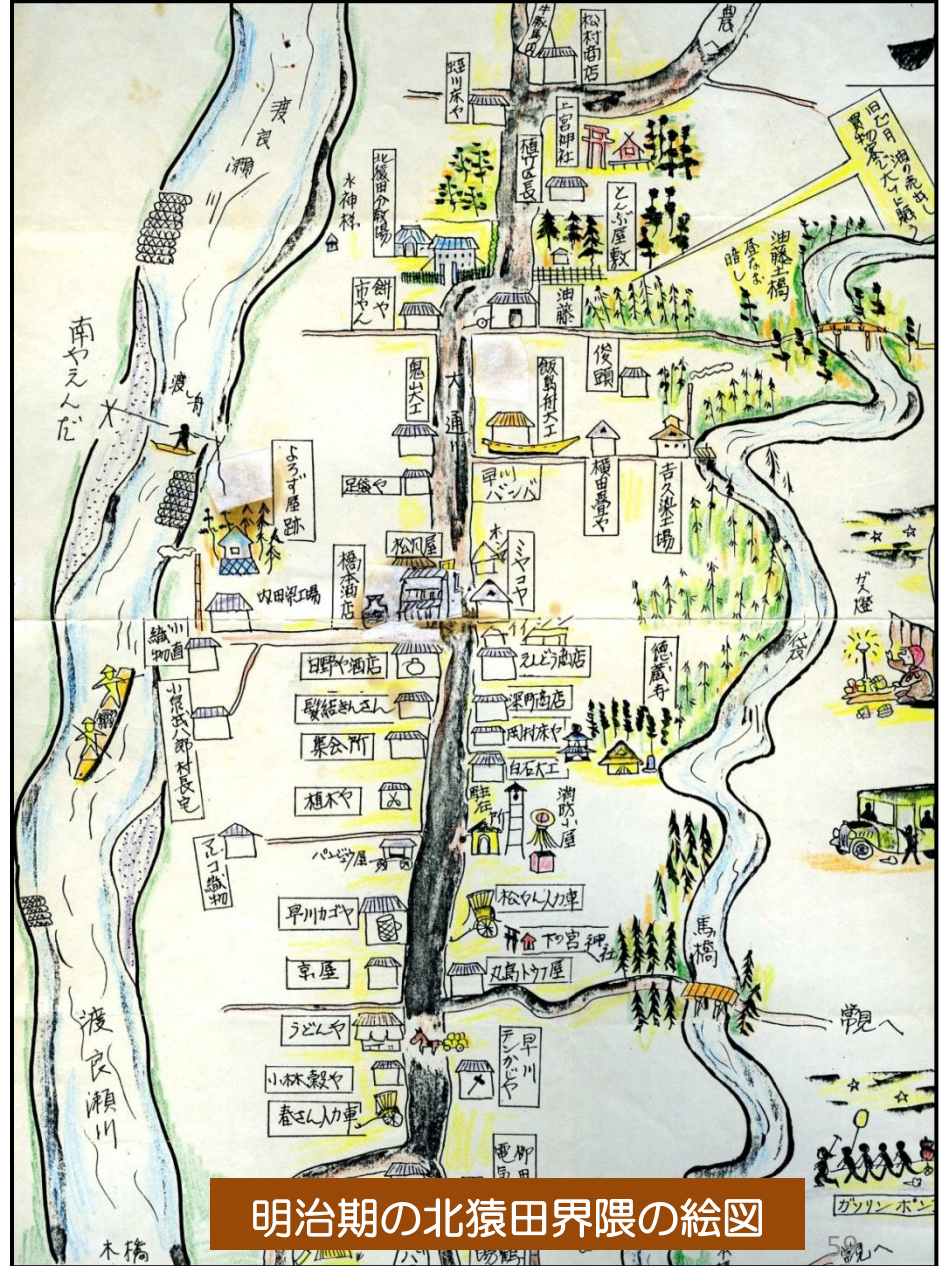
■ 足利織物の歴史 ■ 《 織物産地足利の成立と発展 》



寛文年間（1661～1672年）の足利町絵図



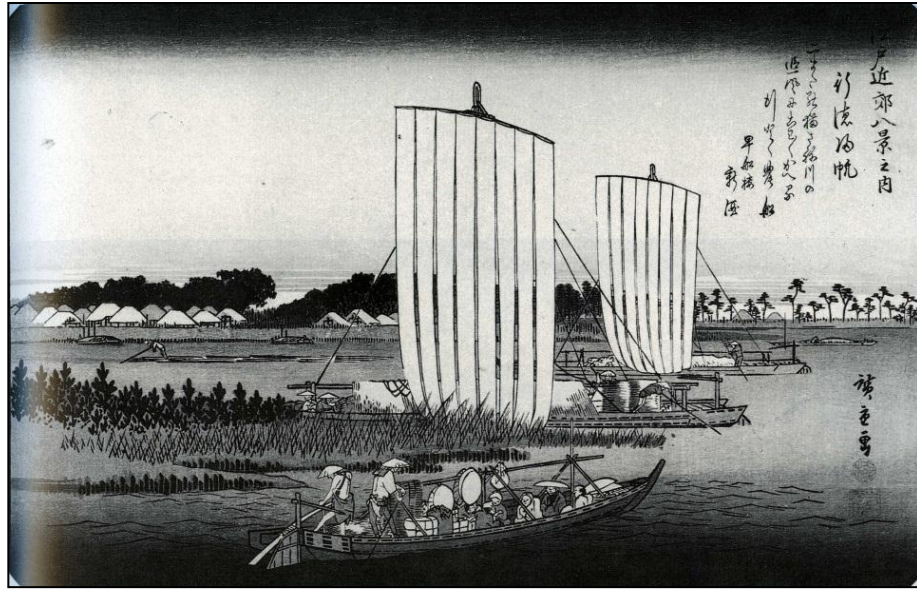
織物輸送路として整備された舟運路



明治期の北猿田界限の絵図

■足利織物の歴史■

《大都市江戸と地方を結ぶ舟運ネットワーク》



利根川の舟運



江戸日本橋の倉庫群：物流の拠点

100万都市・江戸との物流システムの構築が足利織物興隆を促す！

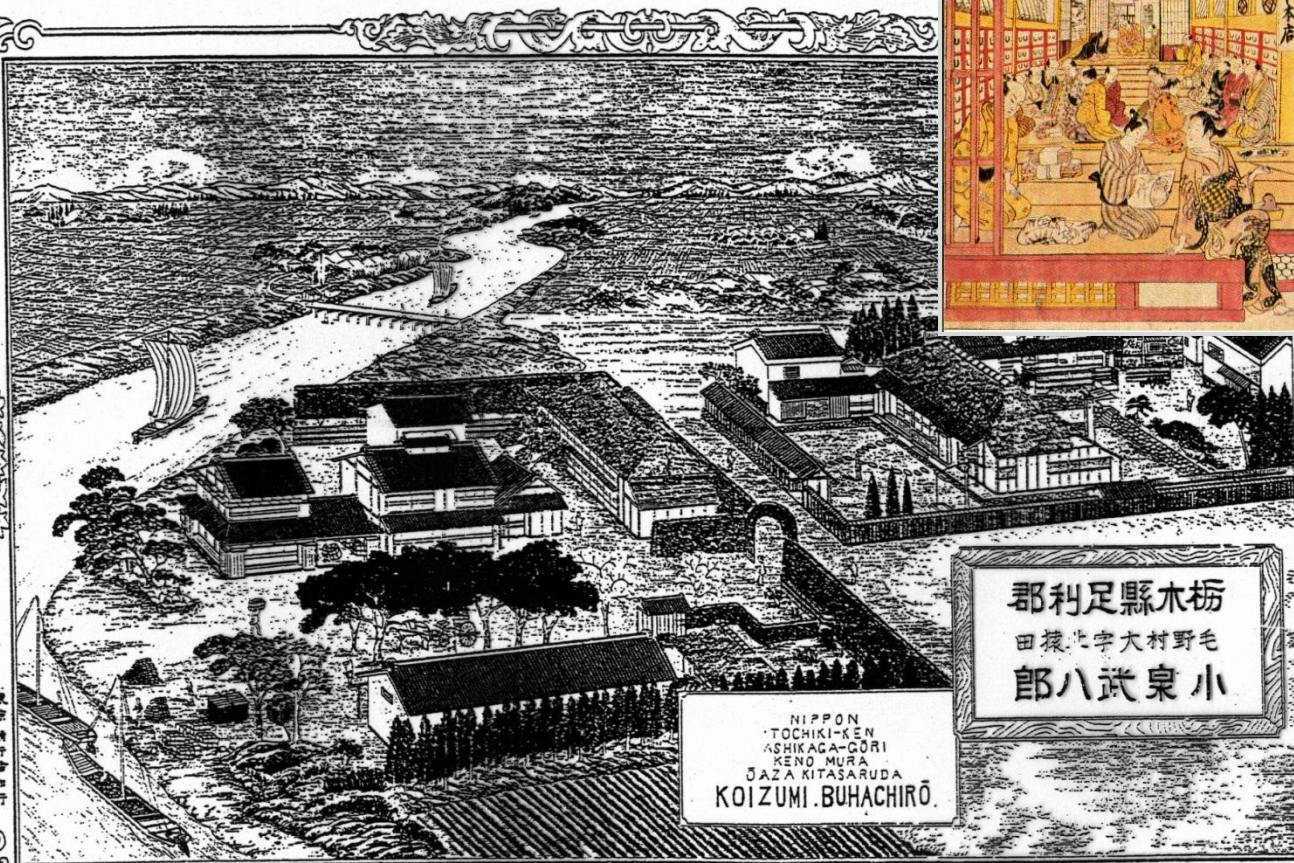
産業の振興

地方都市の興隆

■足利織物の歴史■

《渡良瀬川の河岸問屋の隆盛と江戸大店の勃興》

江戸日本橋の大店『越後屋』
(現在の『三越』)



郡利足縣木枋
田篠北字大村野毛
郎八武泉小

NIPPON
TOCHIKI-KEN
ASHIKAGA-GORI
KENO MURA
JAZA KITASARUDA
KOIZUMI .BUHACHIRO.

河岸問屋『問武』

■ 足利織物の歴史 ■

《 国策：工場制機械工業化 》

殖産興業政策

明治
初期

《 輸出増進・輸入防遏のための産業の育成 》

- 開国後の世界情勢・・・欧州で蚕の病気が流行
- 日本産の生糸の需要が高まる
- 紡績・製糸業が政府の保護・育成の対象となる



明治
中期

《 明治前期からの勸業博覧会・共進会 》

- 産業技術の向上と製品の品質向上により外国貿易の振興を促進する
- 絹織物業の輸出増大に伴い、その需要に対応して洋式織機ジャカードおよびボタンが急速に普及
- 絹織物が重要輸出品となり、政府の保護・育成となる

■足利織物の歴史■

《 国策：工場制機械工業化 》

模範工場の設立と機械製工業化の進展

- 明治20年代から30年代にかけて、絹織物は外貨獲得に最も有効な製品としてわが国の重要輸出品となった。
- この間、岩本良介・長谷川作七・秋間為八・木村浅七らにより輸出用の絹織物生産が始まる。
- 1885（明治18）年に渡米した堀越善重郎を通じて、米国メーソン商会との直輸入が開始される。（海外市場への参入）

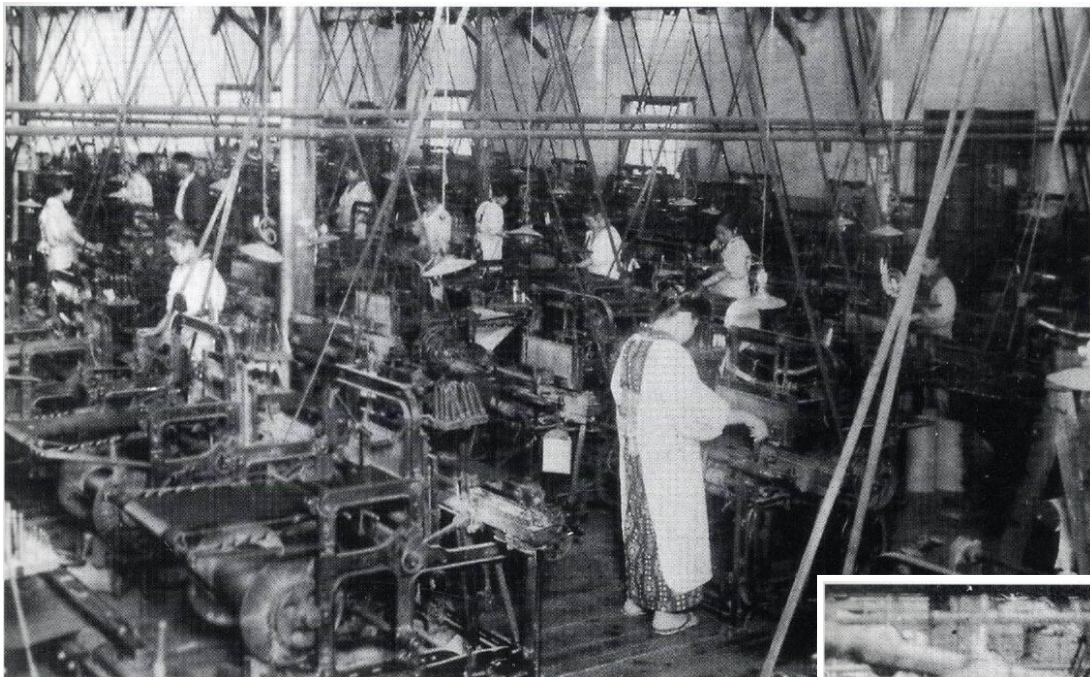
《 農商務省が全国6箇所に絹織物輸出のための模範工場設立 》

- 金10万円の国家資本を投与する保護・育成を目的
- 模範工場対象地の条件
 - ①明治30年前後の絹織物生産・輸出実績、②生産に当たっての産地の体制、③明治34年の「重要輸出品同業組合法」に基づく組合組織の存在、④産地のイノベータとしての指導力のある人材の存在とその実績

桐生・足利・米沢・福井・京都西陣・富山

■足利織物の歴史■

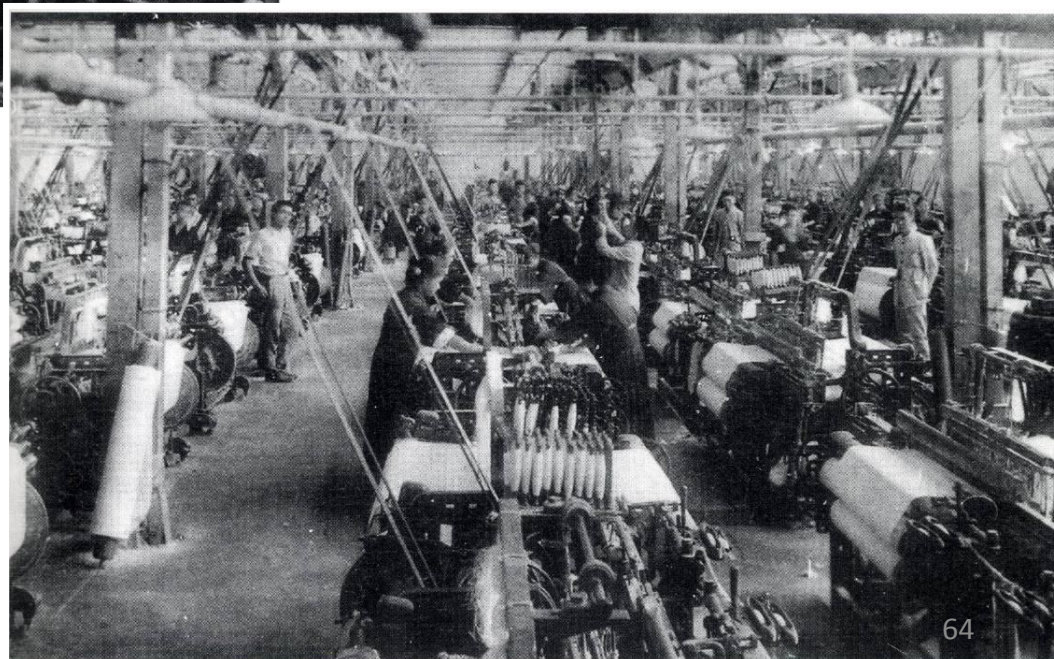
《近代の織物産業の発展》



機械工業化の進展
(明治紡織工場)



足利織物市場



機械工業化の進展
(殿利工場)

■ 足利織物の歴史 ■

《 足利織物の金字塔：足利銘仙の時代 》



(モデル：田中絹代)



足利錦紗ポスター
(昭和10年前後)



竹久夢二が描いた
『足利小唄』楽譜 (昭和4年)

足利市の「近代水道施設群」 選奨土木遺産に認定

「都市づくりの基盤に」
土木学会
高い評価

【足利】全国の貴重な土木構造物を顕彰している公益社団法人「土木学会」はこのほど、「近代水道施設群」を本年度の選奨土木遺産に認定した。緑町配水池の水道山記念館や今福浄水場ポンプ室など、いずれも国登録有形文化財の5施設で構成され、同学会は「生活衛生と工業化を支え、都市づくりの基盤となった芸術性豊かな施設群」と評価した。認定を記念して市観光協会は18日、同施設群などを巡る近代化遺産バスツアーを開催する。



緑町配水池の配水池。奥に見える赤い屋根が水道山記念館

18日、記念のバスツアー

(柴田正人)

同施設群は、このほか、緑町配水池の配水池と接合井、水算計量室。木造平屋の同記念館を除く4件は鉄筋コンクリート構造で、5件とも1930年に完成、現在も稼働している。

各施設の装飾は、19世紀末、20世紀初頭のドイツやオーストリアで流行し、直線を主体とした分離派(ゼツェション)風とされ、同学会関東支部は「市の近代化の様相を今に伝える歴史文化遺産でもある」としている。

同学会の選考委員を務める足利工業大工学部の福島二朗准教授は「足利の水道事業は感染症への対応に加え、織物産業を守るという目的が大きな特徴だった。まさに地域に密着した事業で、足利の発展を支えてきた。近代化の象徴であるこれらのデザインとともにもう一度見直してもらいたい」と話している。

同学会は、土木技術を学問として体系的に支えることを目的に1914年に設立。土木遺産は2000年に創設され、本年度は同施設群を含む全国の21件が認定された。県内の認定施設は計12件となった。同施設群への認定書授与は11

本年度の
土木学会選奨土木
遺産に認定される!

2015.10.2
下野新聞

選奨土木遺産制度の趣旨

◆社会へのアピール◆

土木遺産の文化的価値の評価、社会への理解、等

◆土木技術者へのアピール◆

先輩技術者の仕事への敬意、将来の文化財創出への認識と責任の自覚等の喚起

◆まちづくりへの活用◆

土木遺産は、地域の自然や歴史・文化を中心とした地域資産の核となるものであるとの認識の喚起

◆失われる恐れのある土木遺産の救済◆

貴重な土木遺産の保護

■土木学会選奨土木遺産■

2000(平成12)年「土木学会選奨土木遺産制度」創設

社会へのアピール

土木技術者へのアピール

まちづくりへの活用

失われる恐れのある土木遺産の救済

栃木県の選奨土木遺産（12件）

- ①晩翠橋（h14年度）
- ②宇都宮市水道施設群（h17年度）
- ③境橋（h19年度）
- ④膳棚水路橋（h20年度）
- ⑤旧須花隧道（h21年度）
- ⑥鬼怒橋（h22年度）
- ⑦真岡鐵道 五行川橋梁・小貝川橋梁
（h23年度）
- ⑧東京動力機械製造(株)地下工場跡
（h24年度）
- ⑨栃木県の防空関連施設群（ 〃 ）
- ⑩所野第一発電所 外山原取水施設
（h25年度）
- ⑪日光稻荷川の砂防堰堤群（h26年度）
- ⑫足利市の近代水道施設群（h27年度）

毎年全国から
20件程度を顕彰！



2014(平成26)年度認定の「日光稻荷川流域の砂防堰堤群」

見学施設①



《認定理由》

生活衛生と工業化を支え市制施行後の都市づくりの基盤となった装飾性豊かな施設群で、近代化の様相を映し出す貴重な文化遺産

《主な特徴》

- 5つの施設で構成
- すべて国登録有形文化財（建造物）
- 19世紀末～20世紀初頭にかけて流行した直線を主体とした幾何学的構成のデザインを特徴とするゼツェッシオン風の建物
- 中島鋭治（わが国の近代上下水道の開祖）門下の米元晋一（中島門下の三羽烏）が指導
- 足利市の近代化の様相を今に伝える歴史文化遺産

《近代水道敷設過程》

- 1917（大正6）年、飲料水の不良を訴える住民有り。
- 1918（大正7）年、町務調査会規定に「上下水道に関する件」が追加される。
- 同年、荻野萬太郎・亀田類之助・山口甚四郎が川島平五郎町長に帯同して、八王子市等を視察。
- 1921（大正10）年の市制施行に際し、上下水道事業は将来における重要事業に位置付けられる。
- 1928（昭和3）年、都市計画専務委員会で施工実施が可決され、市会でも決議される。
- 1929（昭和4）年5月15日に着工。1930（昭和5）年12月竣工。1931（昭和6）年に給水。

足利市近代水道施設群① 緑町配水場 水道山記念館



昭和天皇来足（昭和9年）

水道山記念館（旧管理事務所）

- 1930（昭和5）年に緑町配水場管理室として建造された。
- 昭和9年に昭和天皇が陸軍特別大演習の際に行幸、御座所として改築された。現在も椅子等の調度品が当時のまま展示されている。
- 建物は、昭和初期のコロニアル風の建物で、木造平屋切妻屋根瓦葺。屋根は茶色施釉のフランス瓦葺。三角形のドーマー窓が2箇所付いている。

足利市近代水道施設群② 緑町配水場 配水池



足利市近代水道
の創設は、織物
業を火災から守
ることが第一の
目的だった。



配水場の内部

- RC造、水位計室および保守点検入口棟付き。
- 直線を基調とした
- 1955（昭和30）年頃、改築される。
- 諸元：幅約60m、奥行約27m、面積1607㎡、3池に区切られている。

足利市近代水道施設群③
緑町配水場 接合井



RC造（ろく屋根）、塩素滅菌室付、面積43㎡



配水場建設工事（昭和4年）

足利市近代水道施設群④
緑町配水場 水道計量室



（RC造平屋建、面積4.0㎡）

足利市近代水道施設群⑤
今福浄水場ポンプ室



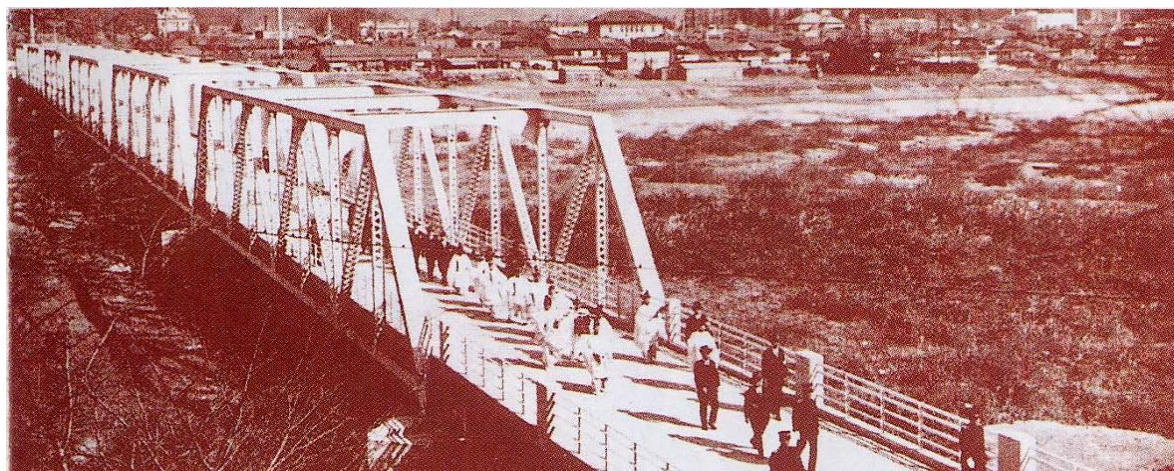
RC造地上1階地下1階建（ろく屋根）



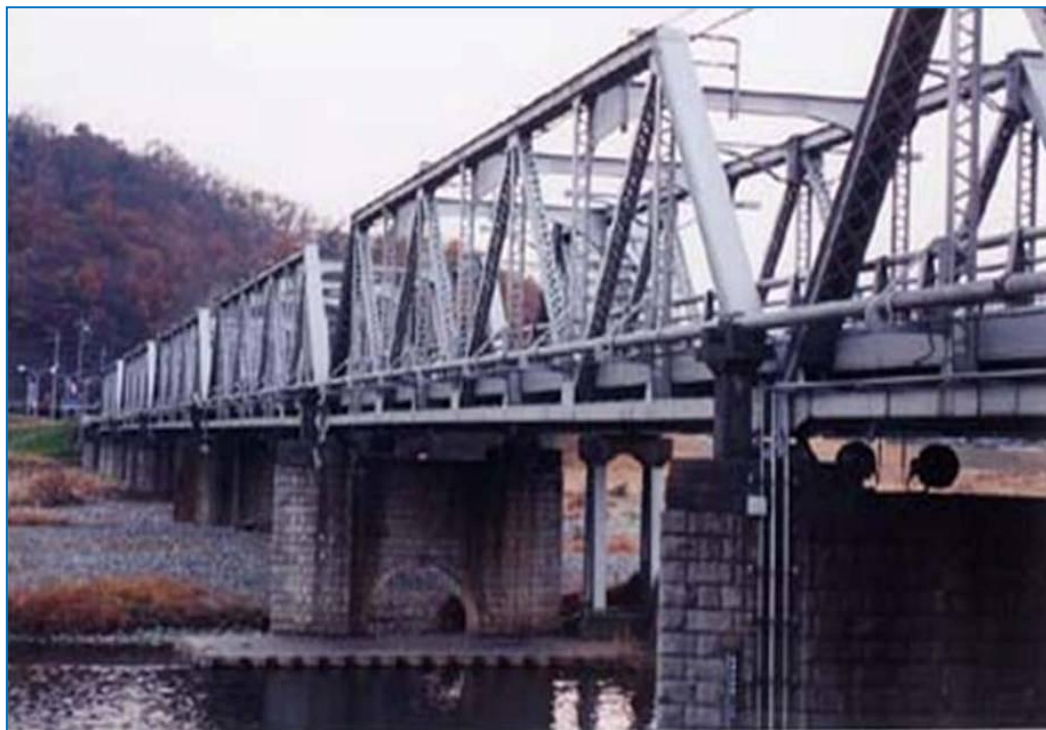
入口両側のアール・デコ風のピラスター

見学施設②

渡良瀬橋



1934（昭和9）年10月の開通式
（「市制70周年記念誌」から転載）

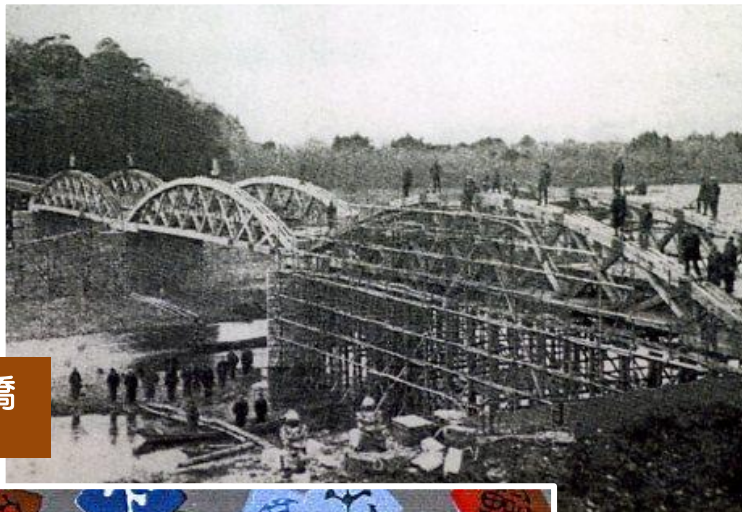


- 1934（昭和9）年竣工
- 構造形式：
鋼ワーレントラス（平行弦、下路）
- 諸元：
長 243.27m、幅員 5.5m、（6T）
- 設計・製作：不明
- 特徴：現橋は3代目。半円アーチの開口部のある石造りの橋脚は初代からのもの。シンガーソングライター森高千里さんに唄われ、多くのファンが訪れる観光スポットに。

渡良瀬橋
豆知識①

《 構造形式の変遷 ① 》

初代はボウストリングトラスの木橋



建設中の初代渡良瀬橋
（「適齋回顧録」から）

- 1895（明治28）年9月に、当時の足利郡と梁田郡の有志256名の連署として栃木県知事佐藤暢宛に「渡良瀬橋新設願」が提出される。
- 1902（明治35）年竣工。
- 旧足利町（河北地区）の織元と河南地区の賃機を結ぶ橋。
- **ボウストリングトラス：**
ドイツのハーコート社がプレハブ式橋梁として建造（ハーコートピントラスシステムと呼称された）。



（「足利名勝絵葉書・足利絶景 渡良瀬橋」）



（「足利名勝・渡良瀬の景」）

渡良瀬橋
豆知識②

《 構造形式の変遷 ② 》

二代目はプラットトラスの木橋

大正6年
架け替え



(足利名勝絵葉書「(改築)足利町渡良瀬橋」)



櫻ノ堤瀬良渡 (所名利足)
Cherry of a dike Watarase Ashikugu

(足利名勝絵葉書「渡良瀬堤ノ櫻」)

図④ トラス橋の種類(1)



(a) ハウトラス



(b) プラットトラス



(c)-1 ワーレントラス



(c)-2 ワーレン(垂直材付)トラス



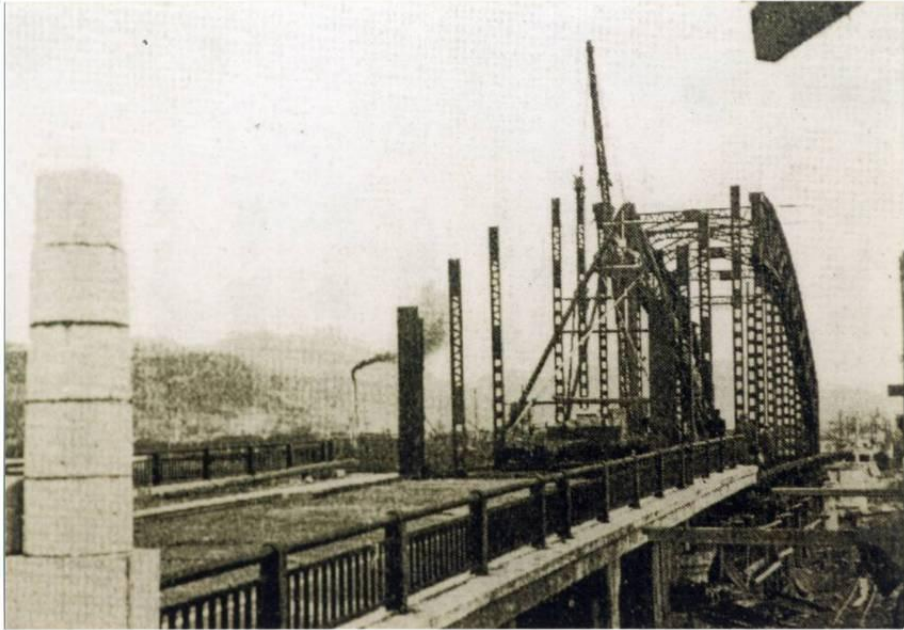
(c)-3 ダブルワーレントラス

■近代化遺産ツアー■

見学施設③

中 橋

建設中の中橋
（「適齋回顧録」から転載）



- 1936（昭和11）年竣工
- 構造形式：
鋼ブレーストリブ・タイドアーチ
（下路）
- 諸元：
長 286.08m、幅員 11m、
スパン 65.8m（3g+3A+6g）
- 設計：浜田秀雄
- 製作：桜田機械製作所
- 特徴：わが国有数の巨大な親柱

中橋
豆知識
①

《 初代の形式は舟橋 》

初代の中橋

- 構造形式：木造 舟橋
- 竣工年：1913（大正2）年
- 概要：渡し船を十数艘並べ、その上に板を敷いただけの構造。幅1.8mほどで手摺もなかった。東武鉄道が私費で架設。



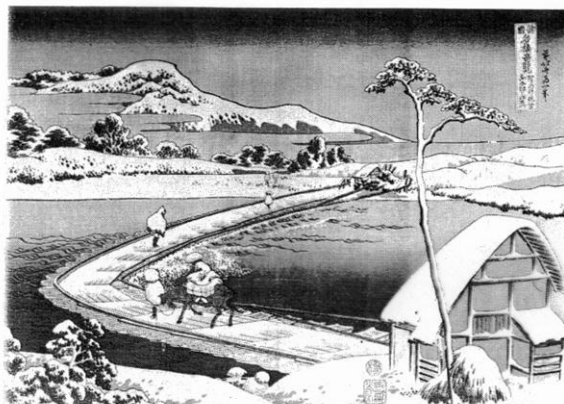
絵葉書「足利風光」より



中橋
豆知識
②

《 舟橋の起源 》

来神橋（宮城県登米市）



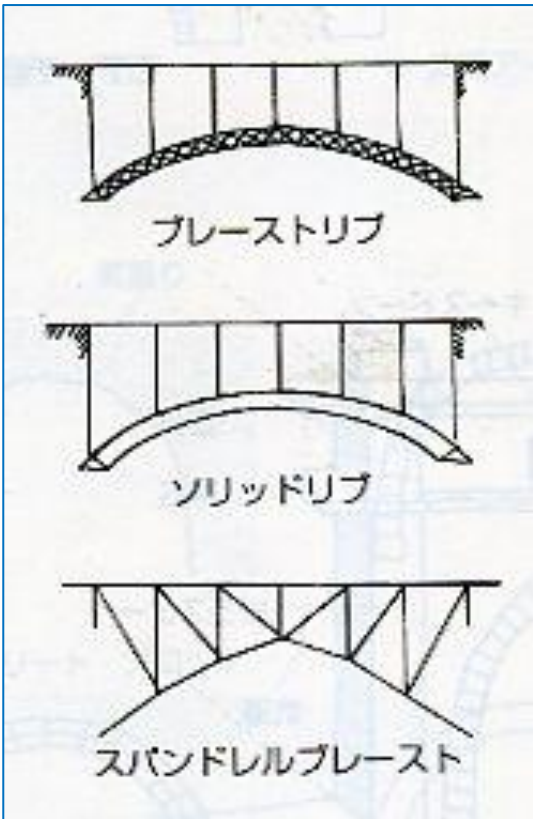
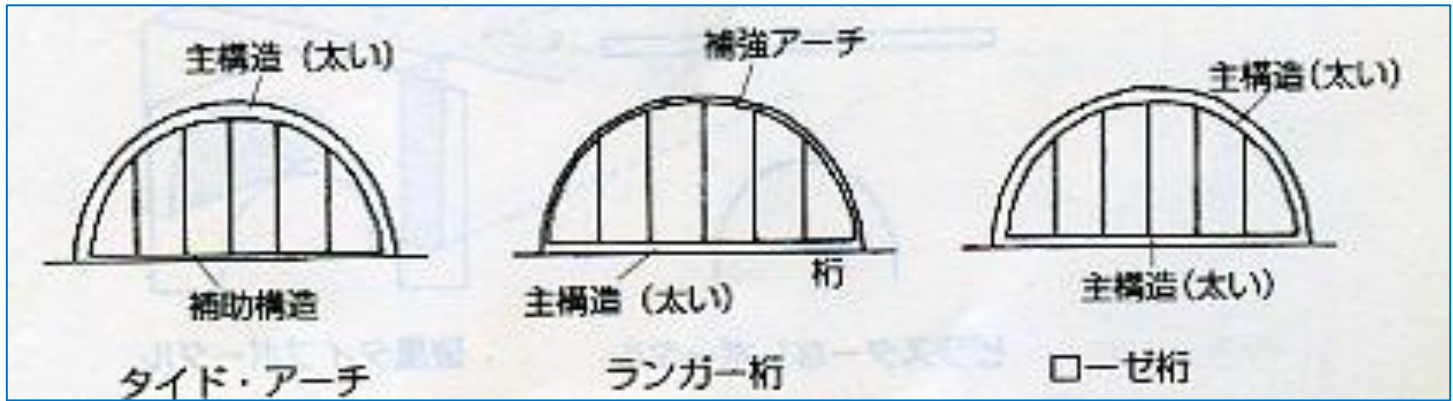
佐野の舟橋：葛飾北斎



発想は、お伽噺の“因幡の白兎”から！

《 橋の構造形式 》

中橋
豆知識
③



- プレーストリブ → リブがトラス構造のもの。
- タイドアーチ → アーチの両端を曲げ剛性の小さいタイで結んだアーチ。アーチ部が太く、タイが細い。

◆◆プレーストリブ・タイドアーチ◆◆

- 19世紀末のドイツで生まれた形式。
- 昔の術語（日本語表記）は『鋼繫拱結構』
繫…タイ、拱…アーチ、結構…トラス
- アーチの両下端を引張材でつないでいる。
両端の橋台を水平に突っ張ることにより荷重を支える。
(石・コンクリートの場合)
鉄の橋の場合、橋台を突っ張る代わりに、アーチの両端を引張りに強い鋼材で繋いでバランスをとる構造が考案された。

中橋
豆知識
④

《 夜の街を彩るイルミネーション 》



1990（平成2）年に市制70周年記念事業として設置されたイルミネーション。足利市の入口に位置することから、ランドマークとしての役割も果たしている。夜の川面に浮かび上がる3連の緑のアーチは、ことさら優美な風情を醸し出している。

■近代化遺産ツアー■

見学施設④⑤

旧木村輸出織物 工場 工場棟



- 1892（明治25）年建造 ■木造平屋建、寄棟棧瓦葺
- 諸元：25.42m×11.313m
- 設計：菅本（詳細は不明）■施工：小野惣平（ 〃 ）
- 特徴：外壁・内壁とも漆喰仕上げ。内部の小屋組は洋式のトラス構造。

旧木村輸出織物 工場 事務所棟



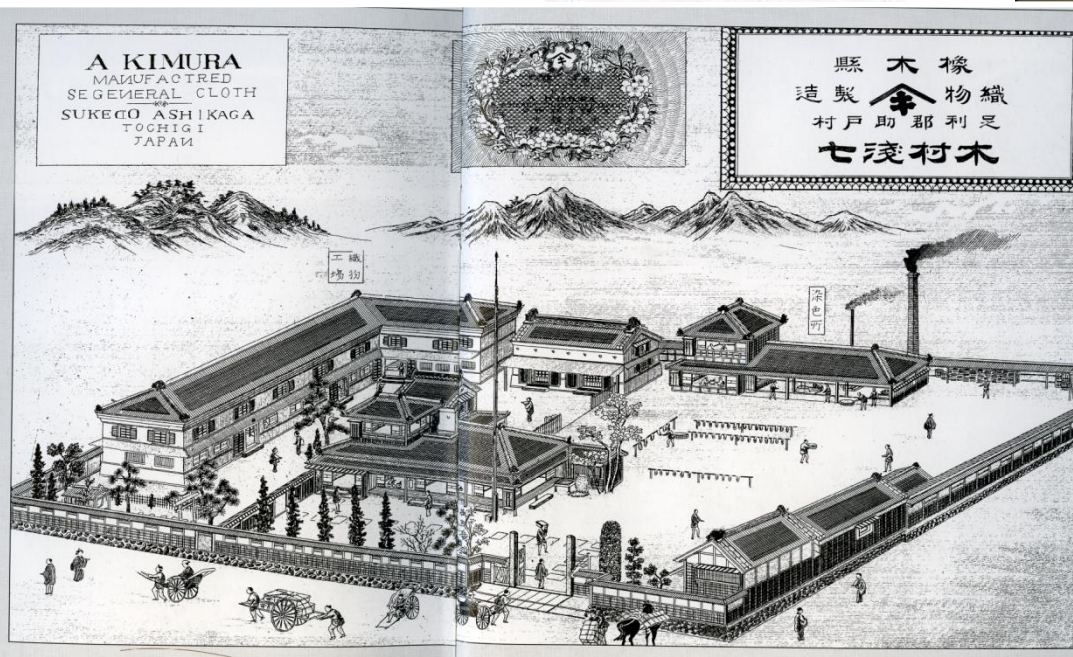
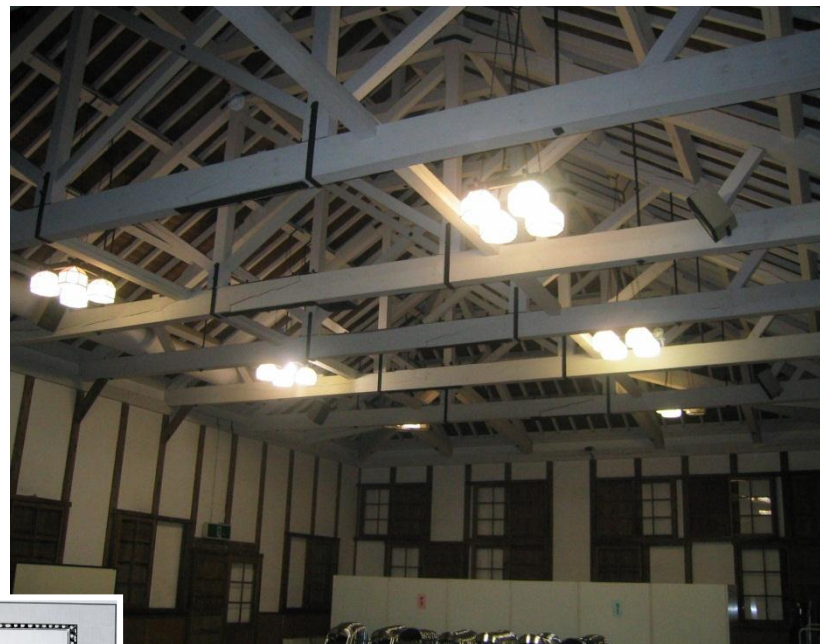
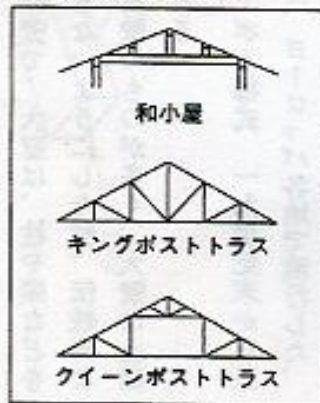
- 1911（明治44）年建造
- 木骨石造二階建寄棟で越屋根付石綿スレート葺き
- 諸元：6.3m×5.52m
- 設計：菅本（詳細は不明）、施工者不明
- 特徴：イオニア式本格的なオーダーの柱頭、半円形のペディメント等、ルネッサンス様式の特徴がみられる。

旧木村
織物工場
豆知識

①

《 工場棟について 》

〔小屋組の形式〕



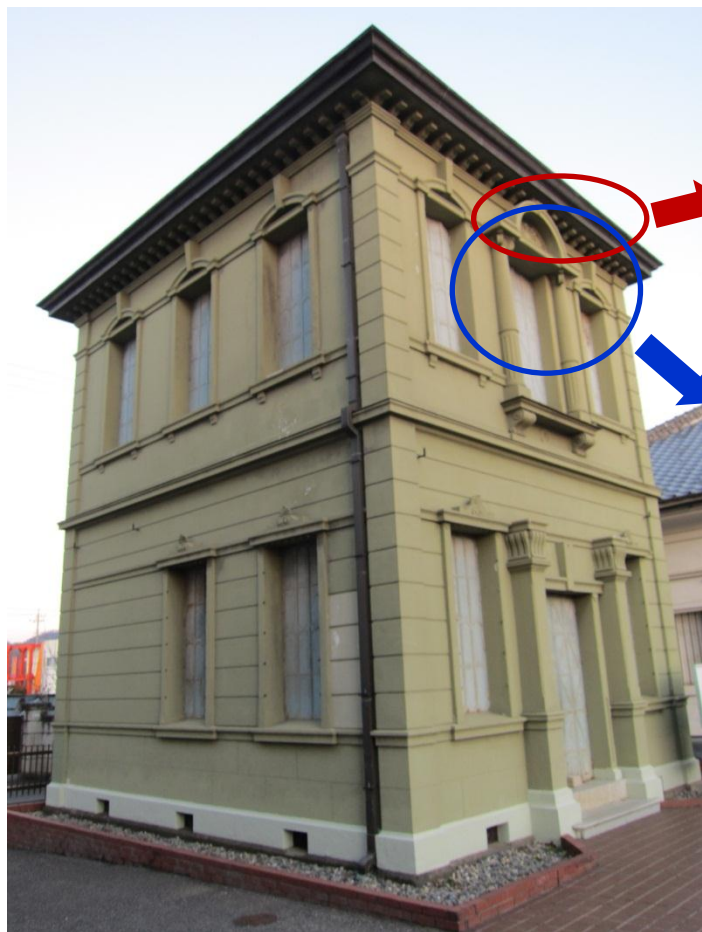
- 1830（天保元）年創業、1867（慶応3）年に初代浅七、1916（大正5）年、二代浅七が相続する。
- 1883（明治16）年頃、輸出織物に転換。
- 直輸入により市場開拓に努める（英・仏・独・伊など西欧諸国。その後、米・加にも。明治33年にはインドに進出）。
- 先進機械の導入による生産技術の向上に努める（仏式ジャカード：明治23、スイス製のルーチー式力織機46台・仏式手織機33台：大正初期）。
- 大正末～昭和初期にかけて、南米・豪州・南アフリカ・中国・朝鮮にも輸出。
- 最盛期は1934（昭和9）年ころ。

（「大日本博覧図栃木県の部（明治23年）」銅版画）

旧木村
織物工場
豆知識
②

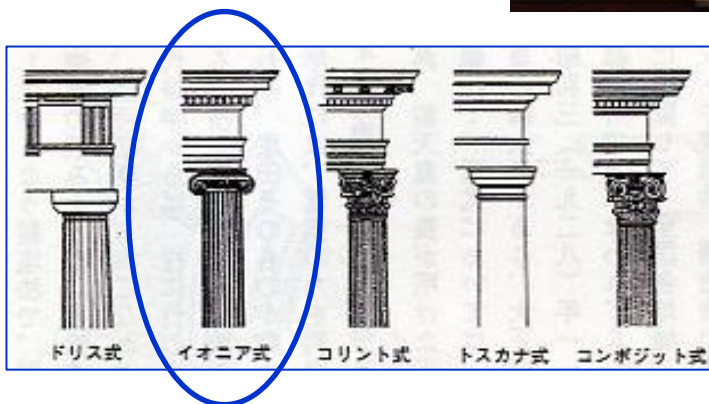
《 事務所棟について 》

隣接する主屋。焼過煉瓦
(イギリス積)の築塀が
風趣を醸し出している。



半円形のペディメント

イオニア式柱頭



織物見本帳・移出帳
などが並ぶ展示室

■近代化遺産ツアー■

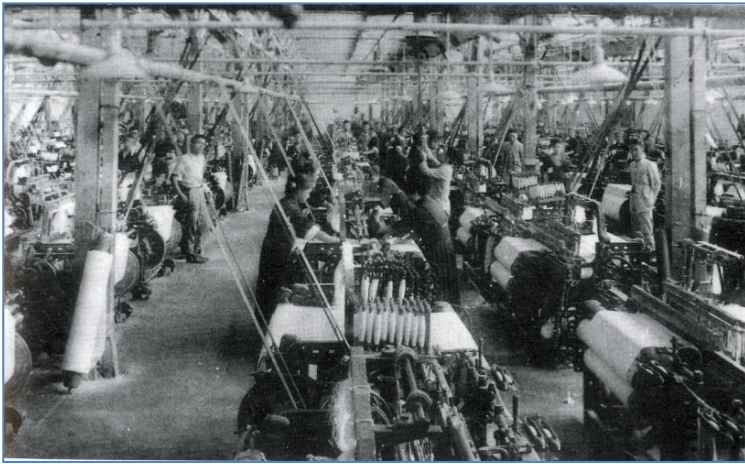
見学施設⑥

旧足利織物株式会社（現株トチセン）

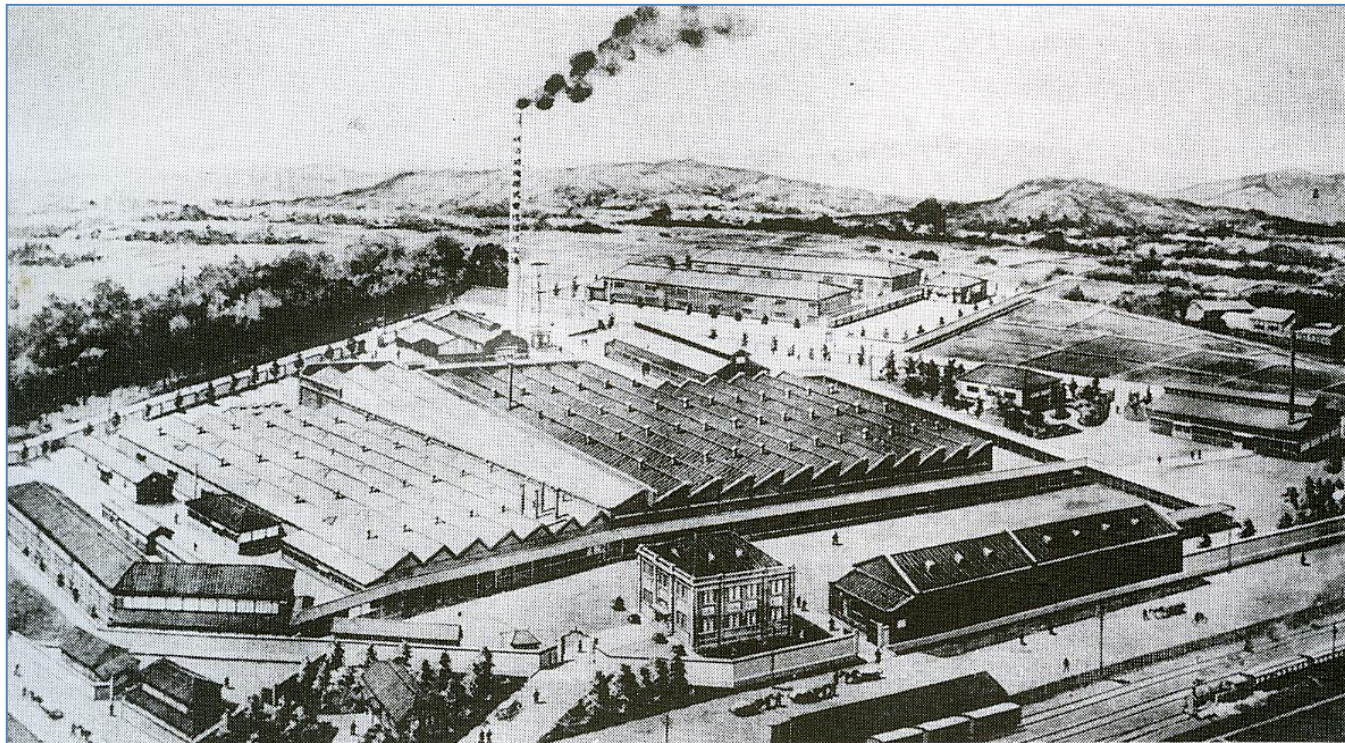


現在の建物（福島撮影）





- 1914（大正3）年 足利織物会社として開業。
- 男女社員150名で一か月平均1千疋の輸出綿織物の生産を誇る。
- 汽缶2台、電動力70馬力、豊田式自動織機120台、燃糸機6台、荒巻整理機3台、糊付整経機1台、など
- 1919（大正8）年に中央資本に。明治紡織株式会社に社名変更。織機300台、社員600名。
- 足利地域の工業製機械工業化の先駆け。
- 煉瓦造ノコギリ屋根の工場棟、倉庫も煉瓦造。
- 国登録有形文化財：1999年11月18日
- 経済産業省の近代化産業遺産：2007年11月30日



（「写真集 足利の100年」より転載）



ランカシャーボイラー
希少価値が高い旧式ボイラー。昭和30年代に足利で30台程度が残っていた。



横置多管式ボイラー
煙管ボイラーの代表的なもの。ランカシャーボイラーの次代を担った。



■近代化遺産ツアー■

見学施設⑦

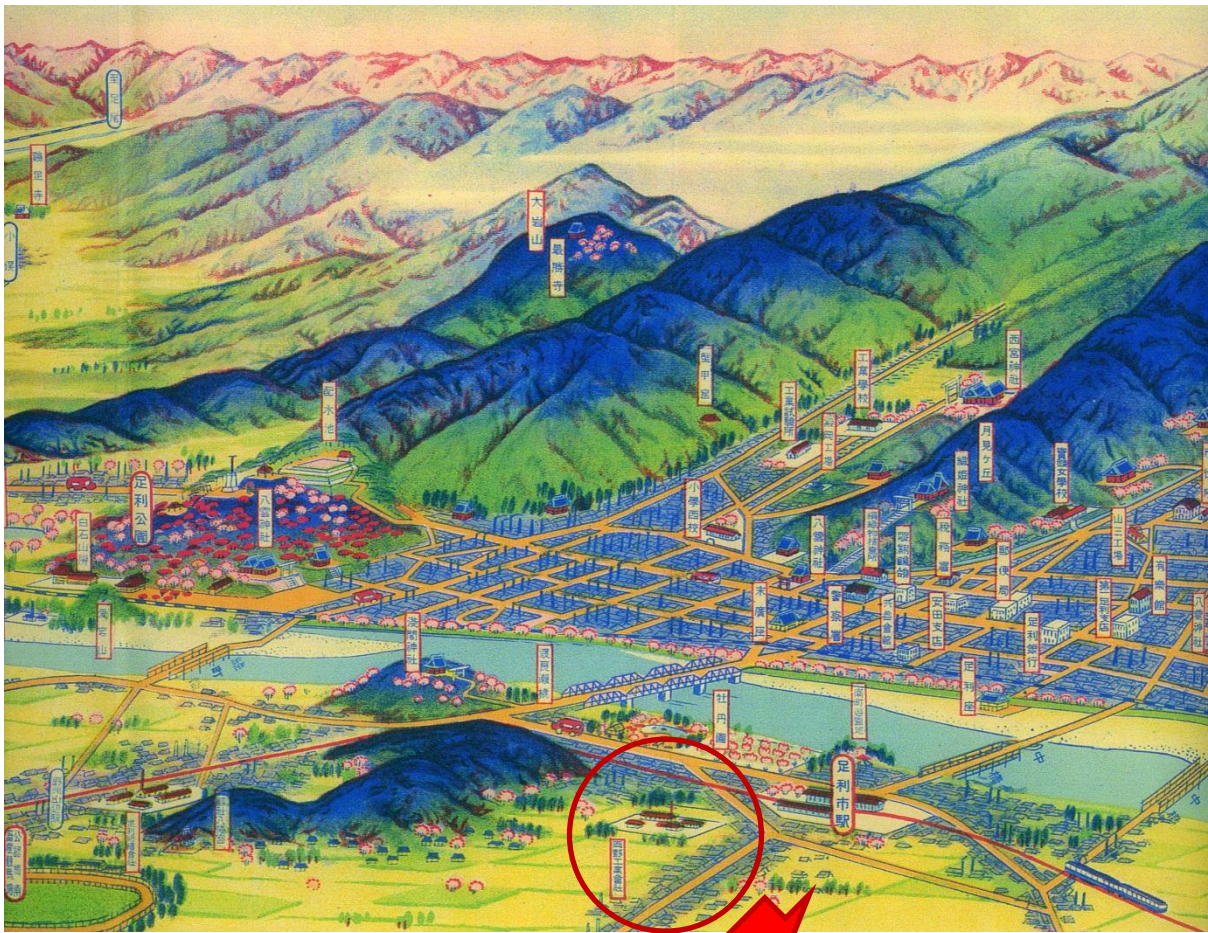
旧足利模範撚糸合資会社
(現アンタレススポーツクラブ)



開業当初の旧足利模範撚糸合資会社。
工場のすぐ北に旧国鉄両毛線が走り、
さらに渡良瀬川の雄大な流れが見える。
(「足利誌要(明治44年)」から転載)



現在の建物 (福島撮影)



(「足利市大観(昭5,金子常光作)」一部抜粋)



- 1903 (明治36) 年竣工。
- 1902 (明治35) 年に農商務省は、輸出絹織物の保護・育成を目的として、**全国に6箇所の模範工場**の設立を決めた。
- 桐生・足利・米沢・福井・西陣・富山。
- 対象地選定に条件
 - ① 明治30年前後の絹織物生産および輸出実績
 - ② 生産に際しての産地の体制
 - ③ 明治34年の重要輸出品同業組合法に基づく組合組織の存在
 - ④ 産地のイノベータとしての指導力ある人材の存在とその実地的活動、等
- 政府の支援内容
 - ① 金10万円の国家資本の投下
 - ② 最新機械の購入・貸与
- 足利では、**米国アトウッドモリソン会社製撚糸機械30台が農商務省から貸与された。**
- 大谷石造平屋建て、洋式木造トラス組、鋸屋根瓦葺き(2連)
- 国登録有形文化財：
1999 (平成11) 年11月18日



(<http://www.club-antares.net/club/facilities.html>)

現在、スポーツクラブとして使用されている。現代のニーズに合わせた歴史的建造物活用の好例。

近代化遺産が消失している

2014年(平成26年)7月30日(水曜日) 下野

かつての製糸場 思いはせ
大崎商舎建物 解体始まる 宇都宮

明治初期、群馬県の富岡製糸場より1年早く今の宇都宮市石井町・鐘山町周辺で創業した製糸場「大崎商舎」の事務所とみられる建物の解体作業が29日、始まった。後に同じ会社の傘下に入った縁もある両製糸場。建物の発見と解体を知った子孫らが駆け付け、日本の近代化に貢献した同製糸場の在りし日の姿に思いをはせた。

建物と同市石井町の岡田貞一さん(84)方に残る木造平屋。富岡製糸場を機に、車通しによって歴史的価値が確認されたものの、老朽化で取り壊されることになった。大崎商舎のあった場所に位置する事務所と分る証拠は乏し、リフォームで外観も変わっているため文化財登録の対象も外れていた。

この日訪れたのは、大崎商舎を創業した豪商川村進(88)の孫で同市石井町の川村伝一(88)さん、朝夫(78)さん(東京都足立区)、敏夫(74)さん(千葉県松戸市)と、富岡の所長を務めた速水堅吾の子孫速水美智子(59)さん(茨城県守谷市)、内海孝(東京外語大名誉教授、同町の石井河岸菊池記念歴史館長の菊池芳夫(66)さん)ら。

朝夫さんは、「建物は残っていないかと思っていた」と、驚いた様子でカメラのシャッターを切っていた。速水さんは「地域の宝」を次世代に伝える必要があると指摘。自身が関わった富岡の世界遺産登録運動を踏まえ、「記念碑や案内板を立てるなどして、地元の人々に知ってもらう取り組みを始めては」と提案した。(田面木千香)

皆川被告が上告
茂木整骨院経営者殺害 茨城県大洗町の海岸で2012年6月、茂木町茂木、整骨院経営者直江勝司(63)の遺体が見つかった事件で、強盗殺人罪などに問われた茨城県常陸大宮市野田、飲食店主伝い皆川昌弘被告(59)は29日

大崎商舎の事務所とみられる建物(後)の解体に当たって、駆け付けた子孫ら関係者(29日午前、宇都宮市石井町)

子孫ら集い別れ惜しむ

スマホで動画や写真
NNTV
60分生中継



新装なったJR烏山駅舎 (2014年3月)

JR烏山駅舎は大正12年に建造された近代化遺産!



■近代化遺産を活用したこれからのまちづくり■

近代化遺産が消失している



原因

高度経済成長期
(1954~1973年)



産業構造の変革や大規模
都市開発の進展等

2003~2011年



施設・建造物の老朽化に伴う
安全面からの更新

2011年3月11日以降



東日本大震災による影響

■近代化遺産を活用したこれからのまちづくり■

近代化遺産が消失している

昭和後期の
風潮？

古いものは汚い
(旧態依然は“悪”)

■美しい建築■

- ミニ開発や建売住宅
- 過剰にデザインされキッチンになっているオブジェ
- 郊外の結婚式教会

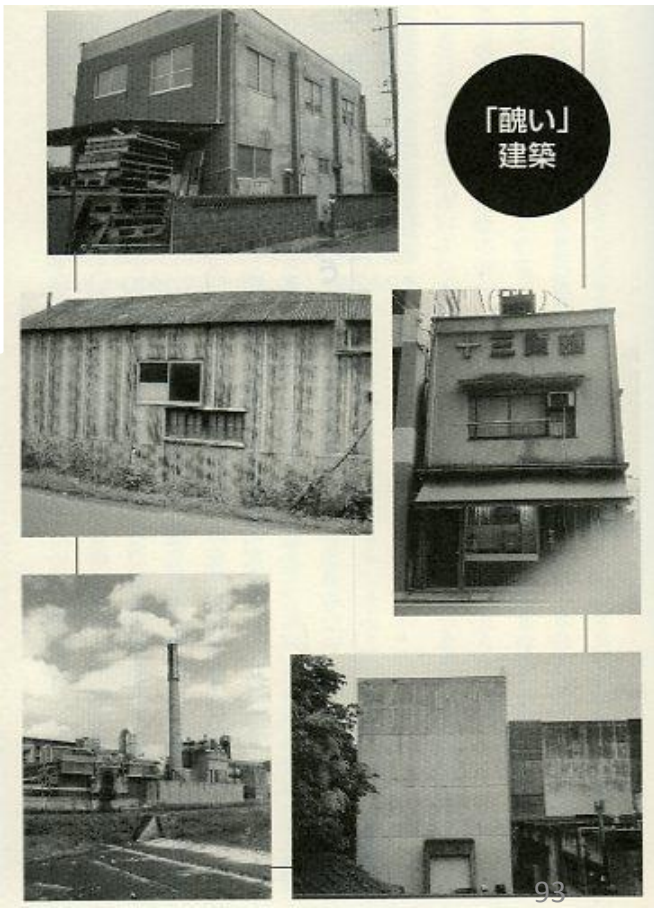
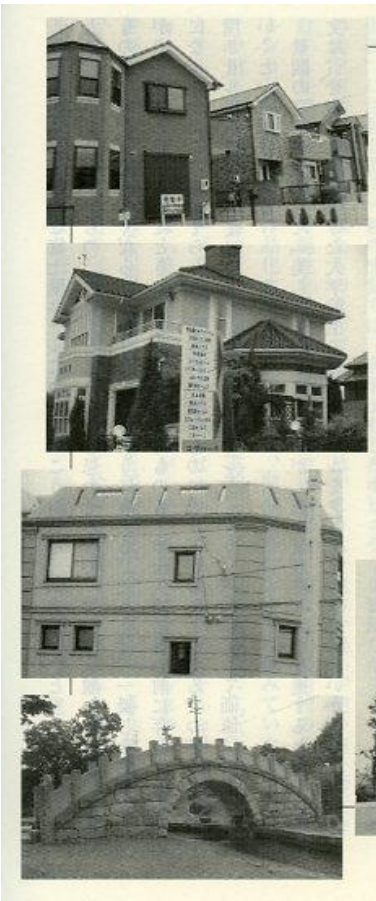
「美しい」
建築

■醜い建築■

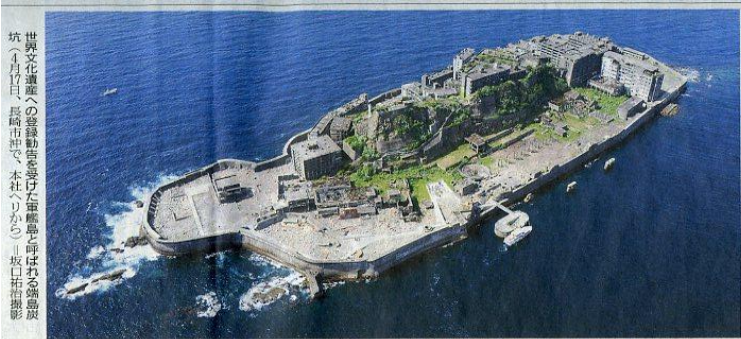
- 工場や古びた倉庫
- 年季の入った看板建築
- 蔦の絡まるモダニズム建築

《ある大学の建築専攻の1年生》

(「美しい都市・醜い都市」:五十嵐太郎, 中央公論新社 から引用)



明治日本の産業革命遺産



世界文化遺産への登録勧告を受けた軍艦島と呼ばれるUSSミズウリ（1947年、長崎市中で、本社へ）の坂口祐吉撮影

軍艦島など世界遺産へ

諮問機関「明治の産業革命」登録勧告

- ◆世界遺産登録までの流れ
- 2013年9月 政府がユネスコへの推薦決定
 - 14年1月 正式推薦書提出
 - 9-10月 イコモスの現地調査
 - 15年5月 イコモスの勧告
 - 7月 ユネスコ世界遺産委員会が登録の可否を決定
- ◆明治日本の産業革命遺産「8エリアと23構成資産」
- 1 山口県萩市
 - 萩反射炉
 - 恵美須ヶ鼻造船所跡
 - 大板山たたら製鉄遺跡
 - 萩城下町
 - 松下村塾
 - 2 鹿児島県鹿児島市
 - 旧集大成館
 - 寺山炭窯跡
 - 関吉の疎水溝
 - 3 静岡県伊豆の国市
 - 葦山反射炉
 - 4 釜石（岩手県釜石市）
 - 横野鉄鉱山・高炉跡
 - 5 佐賀（佐賀市）
 - 三重海軍所跡
 - 6 長崎（長崎市）
 - 小幡修船場跡
 - 三菱長崎造船所第三船渠
 - 同シャイアント・カンチレバークレーン

政府が国連教育・科学・文化機関（ユネスコ）の世界文化遺産への登録を目指す「明治日本の産業革命遺産（九州・山口と関連地域）（福岡県など8県）について、ユネスコの諮問機関「国際記念物遺跡会議（イコモス）」が、登録をユネスコに勧告した。内閣官房が14日、発表した。6月28日から7月8日までドイツのボンで開催される世界遺産委員会で、正式決定される可能性が高い。（関連記事を27面参照）

造船や製鉄 8エリア23件

国内の世界文化遺産は、昨年登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」（群馬県）に続いて15件目となる。

「産業革命遺産」は、日本の重工業の歩みをたどるもので、幕末に薩摩、長州、佐賀藩などが手がけた反射炉や造船所跡、ドック跡から、明治時代後期の官営八幡製鉄所や三池炭鉱、三菱長崎造船所に至る、8エリア

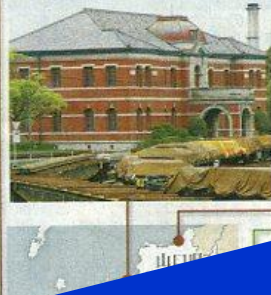
西洋以外で産業化を達成した国は、明治日本。今回の勧告は、家主導で進捗したが、炭の3産業をまとめた産業遺産として、日本の産業革命の概念を、イコモスに提示した結果といえる。世界遺産は教会や城など

◆「明治日本の産業革命遺産」8エリア別の紹介

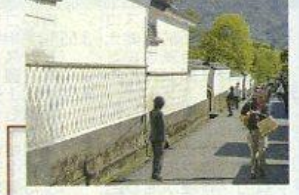
佐賀 佐賀市
佐賀藩が1865年、実用蒸気船「凌風丸」を建造した三重津海軍所の遺跡。有明海に注ぐ早津江川の西岸で階段状の木組みを土で固めたドックの護岸などが発掘された。

八幡 北九州市、福岡県中間市
1901年に製鉄・製鋼・製品加工を一貫して行う国内初の製鉄所として操業を始めた官営八幡製鉄所の遺構で、現在は新日鉄住金が所有する。本事務所＝写真＝、修繕工場、鍛冶工場、ポンプ室が現存し一部は稼働中。

三池 福岡県大牟田市、熊本県鹿尾市、宇城市
三井の経営で1997年まで操業した三池炭鉱の遺構。20世紀初頭の宮原坑、万田坑の竪坑櫓（やくら）、各坑と港を結ぶ鉄道敷設が残る。遠浅の有明海に面するため当初石炭は40°離れた三角西（旧）港で積み出していたが1908年、干潮時も水位を保つ閘門（こうもん）を備えた三池港が完成し、大型船の接岸を可能にした。



萩 山口県萩市
長州藩による近代化最初期の遺産。萩反射炉は1856年建造の試作炉。石積み防波堤が残る恵美須ヶ鼻造船所では洋式帆船が建造され、その鉄材は大板山たたら製鉄遺跡で生産された。当時の町筋や土塀をとどめる萩城下町＝写真＝、吉田松陰が主宰した私塾「松下村塾」も含まれる。

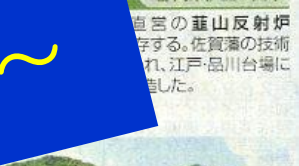


釜石 岩手県釜石市
1858年に操業を始めた橋高炉の遺跡。砂鉄を用いる製鉄に代わって、鉄鉱石近代製鉄発祥の地とさ

長崎 長崎市
鎮国下町

伊豆の国 伊豆の国市

伊豆の国 伊豆の国市
官営の葦山反射炉は、江戸・品川台場に造られた。



鹿児島 鹿児島市
薩摩藩が1851年以降整備した近代化工場群「集成館」の遺構。57年に完成した反射炉の基礎や、石造りの機械工場（65年）＝写真＝などが現存する。燃料の木炭を焼いた寺山炭窯跡、水車動力を供給した関吉の疎水溝も含まれる。

2015年世界文化遺産にイコモスが勧告！
～世界遺産委員会（6/28-7/8）in ドイツ・ボン～

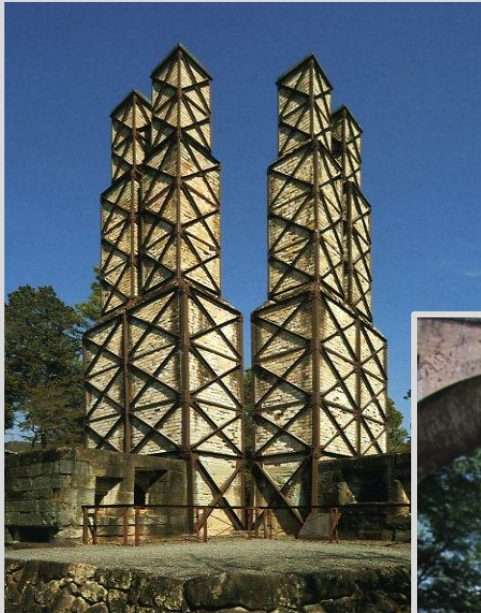
■近代化遺産を活用したこれからのまちづくり■

近代化遺産は今注目の的！

追い風



富岡製糸場（群馬県）



蕪山反射炉（静岡県）



碓氷第三橋梁（群馬県）



小坂鉱山事務所（秋田県）

■近代化遺産を活用したこれからのまちづくり■

価値認識の共有と浸透（どこが優れているのか！）



旧細尾発電所（日光市）

■価値の認識・浸透が希薄■

- * 近代化遺産の価値評価基準が未確立
- * 文化財行政官・学識者少ない
(地域の大切な資産・・・)

文化財 ↔ 消費財？

国木田独歩『武蔵野』
「・・・美といわんより寧ろ
詩趣といいたい・・・」

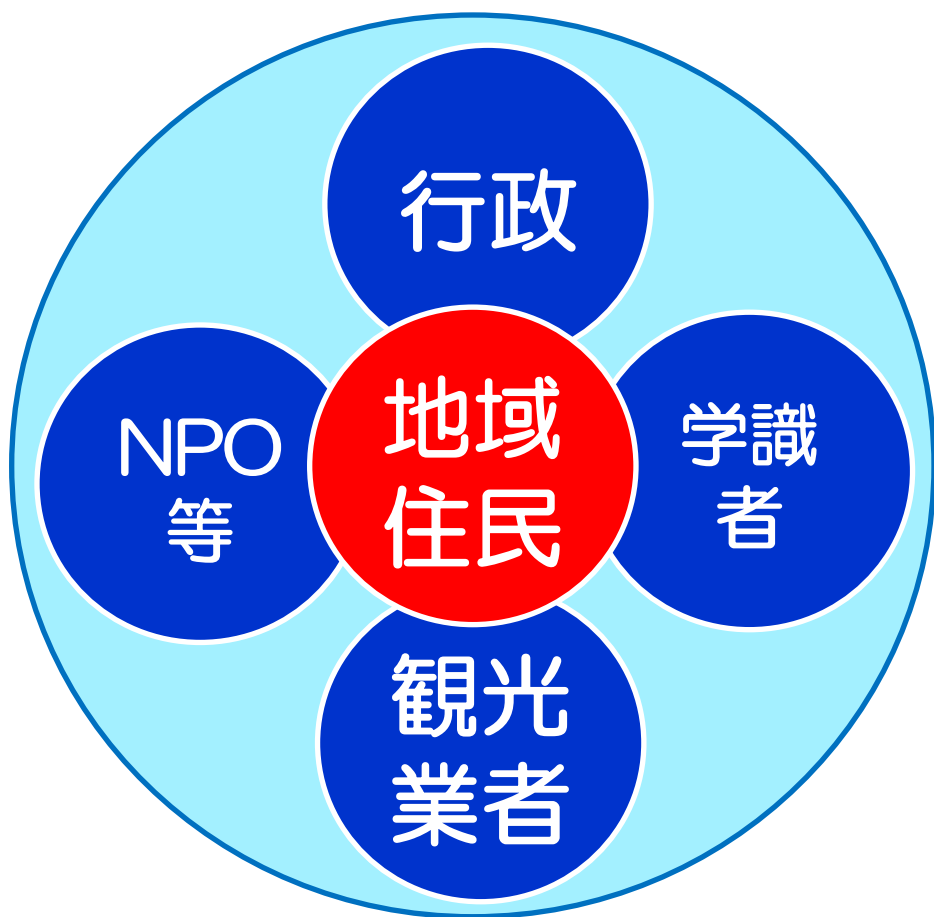
朽ち始めている建造物「近代化遺産」を
美と見るか、古い汚いものと見るか？

まず地元がその価値を認識すること。
そして、文化的関心を持つことが大切である！！

役割
明示

■近代化遺産を活用したこれからのまちづくり■

どのように活用するか（どんなコラボが可能か！）



■個々の取組みは多いが...

- * 行政(省庁)・各種団体の融合
文化庁・経済産業省・観光庁
全近・学会・各種民間団体

- 近代化遺産全国一斉公開2013
参加自治体(市区町)：107
...全国1742 ⇒ 6.14%

■活用手法の検討(課題)

- * 文化財保護行政 ↔ 観光行政
- * NPO・市民の役割&関わり

■近代化遺産を活用したこれからのまちづくり■

(足利工業大学『土木史』2013年度受講生の感想)

歴史とともに生きてきた建造物は地域を物語る文化財

遺産は自然の中にある。そのような遺産との触れ合いは、取りも直さず自然との触れ合い（自然讃歌・情操教育）。

遺産は昔の技術のすばらしさを知るよすが。このことが新しい技術を生み出すことに繋がっていく。

遺産の活用を続けることでたくさんの人が助け合い、協力することで人間関係が築け、よいまちづくりができる。